# Rebro2025 リリースノート

(株)NYKシステムズ

# I.インストール方法

Rebro2025はRebro2024とは別の環境にインストールされます。Rebro2024がインストールされていれば、 Rebro2025の初回起動時に、Rebro2024の設定を引き継ぐか、Rebro2025の内容にリセットするか選択できます。 Rebro2024の設定を引き継ぐ場合でも、Rebro2025で増えたレイヤー、材料サブセットを追加することができます。

〈Rebro2025のインストール〉

①弊社ホームページ[ダウンロード]-[インストーラー]からダウンロードしたzipファイルを解凍後、 「RebroInstaller.exe」を起動します。

- 図面ファイル(\*.reb)への拡張子連動はRebro2025に切り替わります。切り替わらない場合は、エクスプローラーで 図面ファイルを選択し、右クリックの「プログラムから開く」の「別のプログラムを選択」からRebro2025を選んでください。

- 以下の外部ファイルも、「プログラムから開く」でRebro2025が選択できます。
 DXFファイル (.dxf)、DWGファイル (.dwg)、JWWファイル (.jww)、BE-Bridgeファイル (.ceq)、IFCファイル (.ifc,.ifczip)
 Revit専用レブロリンクファイル (.RebroLinkFromRevit)、InfiPoints専用レブロリンクファイル (.RebroLinkFromInfiPoints)

②Rebro2025の初回起動《設定の取り込み》

- Rebro2024がインストールされているWindowsアカウントで、初めてRebro2025を起動したとき、

- 設定を取り込むための確認ダイアログが表示されます。設定の取り込みはアカウントごとに行われます。
- 取り込まれるものは、設定、ユーザー部材、メーカー提供部材、ユーザー記号、ライブラリです。
- 設定は[ホーム]タブ-[設定]の内容すべてです。

([配管][ダクト][電気]タブの右端にある[設定]リボングループは各図面が記憶しているため、図面を開いた時点で自動的に取り込まれます)

③Rebro2025の初回起動《アクティベーション》

- 初めてRebro2025を起動したとき、アクティベーションが行われますので、インターネット接続が必要です。 インターネットが接続されていない場合、5回まで起動できますので、その間にインターネットに接続してください。 ※アクティベーションとはインターネットを通じて、ライセンスを有効化する仕組みのことです。

〈Rebro2024のアンインストール〉

- コントロールパネルの「プログラムと機能」から「Rebro2024」をアンインストールしてください。

- Rebro2024のアンインストールはRebro2025のインストール前に行うこともできます。Rebro2024の設定は、 アンインストールしても維持されます。

〈設定、ユーザー部材、ライブラリの移行について〉

別のPCにインストールされたRebro2024の設定、ユーザー部材、ライブラリの内容を取り込むには、それぞれ 設定ファイルに保存し、Rebro2025で読み込んでください。

〈Rebro2025で作成した図面について〉

Rebro2025で作成した図面を下位バージョンのレブロで開くには、[過去バージョンのRebro形式に変換]を行ってください。 Rebro2025の機能アップで作図した情報は失われますが、図面は2Dの汎用図形に置き換えて維持されます。

### Ⅱ.画面周りの主な変更点



#### No.1 部屋諸元で計算式や条件式、Excel入出力に対応



No.2 排煙計算で排煙口の自動選定・自動配置に対応

#### No.4 配管抵抗計算・圧力損失計算で系統のグループ機能に対応

	🛷 🎇 設定 🥩	レイヤー 🎬	📩 🌆 CG	🚇 👻				レプロ Rebro202	5			_	o ×
🍨 ホーム	図形 配管	ダクト 電気	機器器具	見 スリープ・イ	ンサート	建築 ツール 加工	表示 アドイ	シ			施工 ▼	<b>10</b> - 61 - 6	5 _ 8 X
1	上書 😱 クラウ	ドから開く 🤇	クラウドに	保存	印刷	ウリップボードへコピー     ドへコピー     ドー     ド     ドー     ド     ドー     ドー     ドー     ドー     ドー     ドー     ドー     ドー     ド     ドー     ド     ドー     ドー     ドー     ドー     ドー     ドー		▶ 図枠 ● 図枠化 ● 登録	1 外部参照の設定	二 図面の切り出し	,プ -ジョン	一一 系統選択	選択モード 資 ≦
開< 🛃 名	前を 🔾 読み込み	<ul> <li>         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	ン 🕞 ログ	ፖウト 🛷 🕯	重続印刷	🧕 画像ファイルの貼り付け	キャプチャ	🐼 図面のプロパティの記入	🎾 図面の位置変更		-情報	オプション 🔻	😡 グループ
開く保	存	クラウド		38.4m	Co Bi		ţ	図枠	外部	部参照	情報	要素選択	座標指定
🚑 圧力損失	计算		- 🕸	ALLOH		^				12			
系統名	◎ グループ未設定	~ 追	加 🔻 🔄	グループ名	1F系4	<u>н</u> ~				1	11		5
最大全圧	1FL-1 [251.30 P	a] [4.7 m]	5VL	<ul><li> <li>         系統の     </li></li></ul>	単体追加								3
最遠端	4FL-1 [9.81 Pa]	[16.0 m]	7	系統名	新規	系統							
最大風量	<u>1FL-1</u> [9,600 m <sup>3</sup>	/h]	-8	<ul><li>系統の</li></ul>	一括追加								
最大風速	<u>생가</u> [11.36 m/s	]	+			OK キャンセル							素
系統名	送風機全圧	総延長	風量			4							
0 <u>1FL-1</u>	251.30 Pa	4.7 m	9,600										
0 <u>1FL-2</u>	22.32 Pa	4.8 m	7,200										
2FL-1	21.21 Pa	8.8 m	7,200										故
4FL-1	9.81 Pa	16.0 m	7.200										
4FL-2	41.86 Pa	12.6 m	2,400										
4FL-3	41.72 Pa	12.5 m	2,400										8
□ <u>4FL-4</u>	68.78 Pa	9.8 m	2,400										
□ <u>4FL-5</u>	68.08 Pa	9.6 m	2,400 🛒										1
□ <u>4FL-6</u>	55.66 Pa	6.8 m	2,400										
					1								
すべて選択	すべて解除	71	ルタ 🔻	しょうちょがい	-71								
🏪 系統の一	舌追加	🛋 帳票	出力 🕂	- × <u>yt</u>	ージ [ <u>Ⅲ</u>	部屋諸元   排煙エリ	P						
Ctrl+左クリック	7で要素を追加選択、	Shift+左クリッ	りで選択要素	の解除。(要素	選択後の	Shiftキー距離キーイン	ペーパー	モデル 🚉 67.6% 🔻 🤆	t • 💌 🕫 🗳	🛗 🛃 確認モード 🔻	12322	2 14044	4FL+3290



No.8 クラウドストレージ連携でファイルIDでの参照に対応



No.12 ガラリに接続口を追加

用途の設定						×	
用途名	用途の略号	用途の編集	×		単線の太さ		
空調一配管							
🔲 冷温水(往)	冷温水	区分 空調一配管	× .		0.30mm		
□ 冷温水(還)	CHR	システム用途 冷温水(往)	~		0.30mm		
□ 冷水(往)	С	A TE A TE LOOK			0.30mm		
□ 冷水(還)	CR	名称 冷温水(在)			0.30mm		
□ 温水(往)	н	用途の属性 レイヤーの初期値 コマンドの初期値 保温 設	2+		0.30mm		
■ 温水(還)	HR				0.30mm		
冷却水(往)	CD	用途の略号 () システム用速			0.30mm		
冷却水(還)	CDR	<ul> <li>文字列 </li> <li>冷温水</li> </ul>			- 0.30mm		
■ 冷媒	R	単線の設定			- 0.30mm		
■ ドレン(空調)	D	継手記号サブセット ゴ 二 一般	~		0.30mm		
🔲 空気抜き	AV	田冷記品 🔿 田冷の略号	2	2.6mm)	0.30mm		No.14 用途の[略号]-[又字列]の払張
膨張管(空調)	E				0.30mm		
■ 高圧蒸気(往)	SH	○ 線種	×		0.30mm		
中圧蒸気(往)	SM	<ul> <li>記号なし</li> </ul>			- 0.30mm		
低圧蒸気(往)	S	ダクトの設定			0.30mm		
高圧蒸気(還)	SHR	ガクト断面記号 カレ			0.30mm		
中圧蒸気(還)	SMR	77 F WI III III - 7			0.30mm		
低圧蒸気(還)	SR	BE-Bridgeの設定			0.30mm		
		対応する用途 空調配管 — 冷温水送り管	~	-	_		
追加	編集 削除	OK	キャンセル				
設定の読み込み	·保存 ▼				OK	キャンセル	



No.16 部材配置時にルートに挿入せずに配置

#### No.18 [配線管理]で幹線亘長の取得に対応

	べて	~	基準	707 すべて		~	備考すべて	~					
<sup>家</sup> 配線 配電盤	幹線番号	系統	No	幹線枝番号	盤名称	707	分類	幹線種類	幹線太さ	配管	敷設方法	始点要素	終点要
配電盤 N	. K1-1 🗕		- 1	K1-1-1	3L-1	3FL	幹線(配線)	CVT	38		床隠ぺい	配電盤 No.1	3L-1
			2										
配電盤 N	. K1-2		1				幹線(配線)	CVT	38		床隠ぺい	配電盤 No.1	(7900, 102
		_	2	K1-2-1	3M-1	3FL	幹線(配線)	CVT	22	VE36	床隠ぺい	(7900 , 10230 , 8	3M-1
			3	K1-2-2	3M-2		幹線(配線)	CVT	14	VE28	床隠ぺい	3M-1	(22072,13
			4										
配電盤 N	. K1-3 -		1				幹線(配線)	CVT	22		天井隠ぺい	配電盤 No.1	(6200, 102
		•	2	K1-3-1	3L-1		幹線(配線)	CVT	14	VE28	天井隠ぺい	(6200 , 10243 , 1	3L-1
			3										
配電盤 N	. K2-1		1				幹線(配線)	CVT	38		床隠ぺい	配電盤 No.2	(9600, 565
			- 2	K2-1-1	4L-1	4FL	幹線(配線)	CVT	22		床隠べい	(9600, 5650, 19	4L-1
			- 3	K2-1-2	4L-2	4FL	幹線(配線)	CVT	14		床隠べい	(9600, 5650, 19	4L-2
TO THE ACL N	K0 0		4				大公 《白 / 高口 《白 》	OVIT	20		庄陽ペい	西南部N-0	(7000 100
ECREME IN.	. KZ=Z		- 2	K2_2_1	4M-1	451	早十和永(日口初永)	CVT	22	VE26	床隠べい	自己电验 NO.2	(7900, 102 4M-1
			2	K2-2-1	4M-2	461	辛干和水(日L和水) 古全4息(西24息)	CVT	14	VE28	床隠べい	(7500 , 10230 , 1	4M-2
			4		-111 2	-	+T#//\CU#/k/	001	14	VLLO	PICING. SU		-111 2



#### No.22 機器器具の部材情報と電気属性をリンク

🛞 📜 🔛 🛷 🎇 設定 🥌 レイヤー 🦵 📩 🏬 CG 🖞	¥ •		レプロ Rebro2025		– o ×
🍨 ホーム 図形 配管 ダクト 電気 機器器具	スリープ・インサート 建築 ツール 加.	エ 表示 アドイン		施工	▼ 🛵 ▼ 🕅 ▼ 😁 💶 🗗 🗙
	電気          2         2         2         2         2         4         4         4         5         5         4         5         5         7         4	基礎 F金物 新編材 ▼ 標準·耐震支持 ▼	ユーザー 部材         M         2         機器ライブラゾ(BLC、 2000)           加一 部材         メーカー 提供部材         2000         3000         3000	/標準) -ザー	<ul> <li>         ま株選択         <ul> <li>             選択モード             </li> <li>             ズー系統選択             </li> <li>             ズーズ</li></ul></li></ul>
搬送… 空調… 衛生… 消火器具 ガス器具	電気 鋼材	支持金物・基礎	その他	単線 注記 編	<u>集 要素選択</u> 座標指定
<ul> <li>その他(ユーザー部材)</li> <li>子の他(ユーザー部材)</li> <li>子がイン</li> <li>テゲイン</li> <li>フカスム</li> <li>フロアと高さ</li> <li>部材情報</li> <li>複数先</li> <li>電気気軽化</li> <li>のmm</li> <li>負荷容量(い人)</li> <li>の</li> <li>負荷容量(い人)</li> <li>の</li> <li>相</li> <li>室圧(い)</li> <li>200(部材情報とリンク)</li> <li>運転時の点状電</li> <li>の</li> <li>地助方式工事</li> <li>地助方式工事</li> <li>地助方式工事</li> <li>単線</li> <li>スペース</li> <li>柔続管理</li> <li>音式付き文字列</li> <li>戸い情報</li> <li>2 講然情報</li> </ul>	<ul> <li>平曲図 1/50 (平面)</li> <li>□-ゲー部内の定面</li> <li>○ 5ステム版料</li> <li>□-ゲー部内の定面</li> <li>○ 5ステム版料</li> <li>□ - ゲー部内の定面</li> <li>○ 1-ゲー部内の定面</li> <li>○ 2,75,100,100,100,100,100,100,100,100,100,10</li></ul>		2271ム記号 〇ユーザー記号 7レビューブロ157: 他/S集計 電気度性 7レビューブロ157: 他/S集計 電気度性 第二日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	X X X X X X X X X X X X X X	<ul> <li>■ 2 株</li> <li>■ 2 株</li> <li>■ 2 株</li> <li>■ 2 株</li> </ul>
田 日 カスタムプロパティの追加 •	↓ ↓	方向図 平面全体図 🔄			
Ctrl+左クリックで要素を追加選択、Shift+左クリックで選択要素の	解除。(要素選択後のShiftキー」)距離キーイン	ベーバー モテル 🏠	163% 🔻 🔍 🔻 본 🖓 🗰	💼 確認モード 🔻 -4	256 -628 1FL+0



No.23 回路番号の添字の複数対応



#### No.28 ケーブルダクト・レースウェイの定尺割りに対応

			2ランジ・補強・平鉄リ		SA-1 ■■ +`)/มี⊔า/ป	□□一覧 益番号記入	ゴレハブリスト	<ul> <li>         直管リスト         <ul> <li>             ・継手リスト             </li> <li>             ・継手リスト         </li> </ul> </li> </ul>	エエエ	一 系統選択	_ G ×
図面表現 図面の表現	19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 1	加工方法の変更	(U CAM) 000000000000000000000000000000000000	X		「報利除 スパイラル」	ジャークシント	■」フレキシフルタクトリスト	電気加工	オフション ▼ 要素選択	<u>を</u> 標指定 2
	気 - 作図規則 3 ケーブルラックを定尺で フーブルラック 3 編集時に再割り付け 3 パスダクトを定尺で分 1 回カイテック(編内型) 4 間カイテック(編内型) 4 町カイテック(編内型) 4 町カイテック(編内型) 4 町カイテック(編内型) 4 町イケック(編内型) 5 イダー 2 の物	2分割する 定尺長さ 3000 mm を行う 割する 定尺長さ 3000 mm 0 mm 0 mm 0 mm	最短長さ 200 mm 最短長さ 430 mm 550 mm 0 mm 0 mm				I				レイヤー 一下 系統管理 「「」 検索 「」 「
<ul> <li>● (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>	<ol> <li>ケーブルダクトを定尺1</li> <li>デーブルダクトを定尺1</li> <li>編集時に再割り付け1</li> <li>レースウェイを定尺でう</li> <li>ノースウェイ</li> <li>編集時に再割り付け1</li> <li>単二スウェイ</li> <li>編集時に再割り付け1</li> <li>第二の空体図</li> </ol>	C分割する 定尺長さ 4000 mm を行う 分割する 定尺長さ 4000 mm を行う	<ul> <li>最短長さ</li> <li>150 mm</li> <li>最短長さ</li> <li>150 mm</li> <li>OK キャンセル</li> </ul>								1画マーカー



No.31 クイックアクセスツールバーのフローティングに対応

No.30 ウィンドウのフローティングに対応



No.32 リボンのカスタマイズ機能を追加



● 1. 二 - ● 微設定 - > レイヤー 計 1. □ CG 遵 -		レプロ Rebro2025		- 0 ×
	■染 ツール 加工 表示 アドイソ く ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<ul> <li>□ クリップボードへコピー ▼</li> <li>□ 貼り付け</li> <li>■ 面像ファイルの貼り付け</li> </ul>	図枠 図枠化 出し パブ - 登録 出し - ジョン 面のプロパティの記入 一情報	<ul> <li>瓶工 ● 「● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</li></ul>
■ 2010- ■ 2010- ■ 2010- ● 12 手持線線 ■ 2010- ● 12 ■ 2010- ■ 2010-	対象要素 70ア レイヤー 要素 ■ 2 707 ■ 2 FL( +4000 ) ■ 2 FL( ±0 ) ■ 1 FL( ±0 ) ■ 1 FL( ±0 ) ■ 1 FL( ±0 )	次		<u>カス</u> 変換 分類 プロア+部屋 ・ 通加 ・ 通加 ・ 通加 ・ 通加 ・ 通加 ・ 通加 ・ 一 一 金体(0) - - - - - - - - - - - - -
レイアウトグループ1 ▽ 単面図 4方向図 平面全体図 ■ メッセージ 単 部屋諸元				田田 田 色分け 🗘 🚅
Ctrl+左クリックで要素を追加選択、Shift+左クリックで選択要素の解除。(要素選択後の	hiftキー距離キーイン ペーパー モ	デル 💢 21.3% 🔻 🗨 💌 💦	🔆 🚉 🛗 🖬 確認モード 🔹	

No.33 [系統管理]にビュー専用要素を対象とする機能を追加

No.35 外部参照ファイル同士を干渉検査しない設定を追加

🌒 🔳 😅 総設定 👒 レイヤー 🎬 🏟 📼 C.G	Bi +		レプロ Rebro2025			_	a x
ホーム 図形 配管 ダクト 電気 機器器具	スリーフ・インサート 建築 ツール 加工	表示 アドイン			施工 🔻 🛦	0 - 01 - 13	×
● 新規図面 ● 計規図面 ● 上書き保存	(う) クラウドから開く (う) クラウドに保存	<b>and the set of the s</b>	□ クリップボードヘコピー ▼ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	□ 図枠化 □ 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	し <mark>/プ</mark> - -ジョン -	€ 系統選択	▼ 選択モード
開く 👢 読み込み 🔹 🔄 名前を付けて保存 ▼	🧠 読み込み 🔻 📲 ログイン 📲 ログアウト	🎸 連続印刷	● 画像ファイルの貼り付け キャフナ	* 😪 図面のプロパティの記入	-情報 オ	プション 🔻	∞ グループ
開く保存	クラウド	印刷	コピー・貼り付け	図枠 外	部 情報	要素選択	座標指定
開始する ▼ ○ 図面全体を検査する ○ カレントビューのみ検査する	₩ 平面図 1/50 (平面) ▼						
検査ルート 検査対象 離隔 その他							4.4
干渉位置 除: グループ化された3D図形の検査方法	•						
表示 (0) / (0) / (2) 要素単位で干渉検査する							
NO ①要: ○ グルーブ単位で干渉検査する							います
▼ 外部参照ファイルを検査する							12
✓ 外部参照ファイル同士を検査する							
✓ カレントビューで検索対象になっているレイヤー	のみ検査する						家
□ 同じレイヤーグループは除く							1 3 <del>1</del>
□ 同じレイヤーは除く							
✓ 建築レイヤー同士は除く							· 23
r							1
	レイアウトガルー <b>ブ1</b> ▽   平面図   4方向図   平面	全体図					
出力⊸回避 ▼ ➡除外 ▼ × AL¥	■ メッセージ   目 部屋諸元   ■ 排煙エリ	I7					
Ctrl+左クリックで要素を追加選択、Shift+左クリックで選択要素の	解除。(要素選択後のShiftキー 距離キーイン	ペーパー モ	รีม 💢 37.4% 🔻 🔍 🛛 💌	💫 🎮 🚔 確認モード 👘	•		
🧶 📜 🛹 🎇 設定 🥩 レイヤー 🏋 🖄 🍱 CG 🏭	•		レブロ Rebro2025				
🏝 ホーム 図形 配管 ダクト 電気 機器器具	スリーフ・インサート 建築 ツール 加工 表	示 アドイン					
ANDPADIC 出力							
出力するレイアウト 新しい機能の追加							
ANDPAD 7 K1							
No	o.39 施工管理ツール「ANDPA	D」との連	携				

 ●
 ●
 ●
 ●
 レ/11 Rebro2025

 ●
 ホーム
 図参
 配管
 ダクト
 電気
 機器器具
 パーブ・インサート
 建築
 ツール
 加工
 表示
 アドイン
 図
 MEL-BIM(空調・換気に出力)

 ●
 構築器定置
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</td



Ctrl+左りリックで要素を追加選択、Shift+左りリックで選択要素の解除。(要素選択後のShiftキー」 距離キーイン ベーパー モデル 🞇 23.5% 🔻 😪 🔻 🖳 確認モード 🔻

<ul> <li>         ホーム 図形 配管 ダクト     </li> <li>         BIMXDIに図面情報         を保存する     </li> </ul>	電気 機 から図面情報 する	器器具 スリーブ・インサート 建築 5	リール 加工 表示 アドイン			施工 - M - M - D _ D × 一 系統選択 - F
ログイン	ログアウト	新しい機能の追加		「IFCプロパティセットの設定	×	オブション 🔻 😡 グループ
BIMXD	(mm/262 図面情報 工事	アドイン 右前面 1/100 (右前面) ▼ の保存 test	×	レブロ専用プロパティセットを保 プロパティセットの接頭語 Pe PartsData(用途、材料、 CustomProperty(カスタム Zone(スペース) System(系統管理)	:存する et_Rebro 部材情報 (加) .プロパティ)	要素選択 座標指定 5
干港機會	図面	名称 a 2 1FL	き準7ロア、ビュー	<ul> <li>✓ LightDistribution(配光デ</li> <li>✓ Fabrication(加工)</li> </ul>	(-9)	
		☑ Ka-		<ul> <li>□ IFC読み込みしたプロパテ・</li> <li>□ ルミナスプランナーのプロパ</li> <li>✓ ユーザー設定</li> <li>■ IFCプロパティセット</li> <li>■ RMXD</li> </ul>	イセットを保存する テイセットを保存する レブロのプロパティ	r S
<del>ت</del>		すべて選択 すべて解除	基準7ロア、ビューの選択	長さ(芯々)	長さ(芯々)(サイズとルート)	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N
1曲 ライブラリ	要素	<ul> <li>ご 配管</li> <li>ジ ダクト</li> <li>ジ 創気口</li> <li>ジ 建築</li> <li>ジ スリーブ</li> <li>ジ 調材</li> <li>ユペース</li> <li>ジ 防火・防煙区画</li> </ul>	<ul> <li>✓ 電気</li> <li>✓ 機器・器具</li> <li>✓ 3D図形</li> </ul>	長さ(実長) レイヤー レイヤーブループ ダンパーの向き	長さ(実長)(サイズとルート) レイヤー(共通) レイヤーグループ(共通) ダンパーの向き(サイズとルート)	
		✓ 外部参照図面を含む	IFCプロパティセットの設定	保温	保温(保温)	
			ОК <b>キャンセル</b>	参準点 保温の種類 追加 編集	基準点(幾何情報) 保温の種類(保温) 削除	
			NYK ::NYK:2742		ОК <b>キ</b> ャンセル	

#### No.41 [BIMXDに図面情報を保存する]でIFCプロパティセットを設定



No.45 ルミナスプランナー連携で反射率の手入力に対応

🥵 📜 🔐 🛷 🎇 設定 🥌 レ	-17- 🏋 🖻 🔤 CG 🌁 🕶	レプロ Rebro2025	- 6	ı ×
🎐 ホーム 図形 配管 🤌	シュージ・インサート 建築 ツー	ル 加工 表示 アドイン 🕒 照度分布図 施工 🔻	🛵 🗕 🧖 🔺 🔁	_ 8 ×
□ 部屋を選択 ▼	天井反射率 70% 🗸 🗹 照明器具表を配置する			選択モード
🗌 天井高さ 🛛 3.2 m 🗸 🥑	壁反射率 50% ~ ジ計算結果表を配置する			🍋 🔁
作業面高さ 0.75 m 🗸	床反射率 10% ~		オプション 🔻 🤇	🌏 グループ
部屋形状	計算条件		要素選択	奎標指定

	🚽 🛷 🎇 設定 🧉	レイヤー	<b>r</b> 0	👌 🏬 cg 🎍	-						レプロ	] Rebro2	025								_		٥	×
೨ ホーム	図形 配管	ダクト	電気	機器器具	スリーフ・インサ	▶ 建築	き ツール	加工	表示	アドイン	H鋼梁の	配置							施工 🔻	le9 -	61 -	퀑	- é	γ×
区分 🔻	建築		~	<u></u>	🚺 対角の2;	を指定	•	ט <b>י</b> ד (	ブを破線	で表示する	□ 耐火	被覆 25	mm 🕓	H型					-		Ð	ピッチ	10 mm	~
レイヤー	👼 码 🗖 鉄骨梁		~		梁幅 500mm		ウェブ厚	20mm		開始側の端部	部 通常	~	サイズ	-	天端高さ	0mm	2FL			9	<u>1/n</u>	角度	15 °	~
	0.01mm	破線(		H鋼梁 ▼	梁成 800mm		フランジ厚	30mm		終了側の端	部 通常	~	サイズ	-			揃え ⊟	) 🖻 🗔	4	オプショ	<b>ン</b> •	基準	0 °	•
	レイヤー									作図方	法 通常								表示	要素	選択		座標指	定
											ハンチ													
											水平ハンチ													

No.48 [H鋼梁]の端部の形状にハンチ・水平ハンチを追加



No.49 [梁]にプロパティ項目[梁下の距離][検索フロア]を追加

No.34 [系統管理]パネルから一括で色分けできる機能を追加



No.51 [データリンク]で[盤の管理]の順番で盤名称の出力に対応





No.53 [ユーザー部材のプロパティの保存/読み込み]のBLCJ標準仕様属性項目対応





🧶 📙 🚄 🐗 🎇 設定 🥌 レイヤー 🍸 🔥 🏧 CG 丹 🔻		レプロ Rebro2025	– ø ×
艶 ホーム 図形 配管 ダクト 電気 機器器具 スリーフ	・・インサート 建築 ツール 加工 表示	アドイン 3. 配管加工の定尺の編集 施工 マ	🗶 🖛 👘 🗸 🕾 🖉 🖌 🕾
定尺割り         手動割り         長さ変更         結合         リセ	長さ         4000 mm           反対側を基準にする           ット         実長で分割	<ul> <li>● 用途の設定に基づいてパッキンを入れる</li> <li>● 分割する細手の選択</li> <li>● 分割する細手の選択</li> <li>● 付割する細手の選択</li> <li>● 付割する細手の提択</li> <li>● 付割する細手の認知</li> <li>● 付割する細手のと</li> <li>● 付割する細手の認知</li> <li>● 付割する細手の認知</li></ul>	■ 系統選択 ■ 選択モード
作図方法	作図設定	パッキンの設定 部材の変更	要素選択 座標指定

No.64 配管加工の[定尺の編集]に分割する継手を選択する機能を追加

Image: Set in the			No.66 レイヤー名の約	絞り込みに対応	
● 新規図画 ● 単近使小区画 ● 単近使小区画 ● 「       ● 上ま母将花 ● 単近       ● クラウドから様 ● クラウ       ● のラウドから様 ● クラウドから様 ● クラウドから ● クラウ ● クラウドから ● クラウドから ● クラウドから ● クラウドから ● クラウ ● クラウドから ● クラウドから ● クラウ ● クラウドから ● クラウドから ● クラウドから ● クラウ ● クラ ● クラウ ● クラ ● クラウ ● クラ ● クラ ● クラ ● クラ ● クラ ● クラ ● クラ ● クラ	<ul> <li>         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	亚 CG ④ ▼ 機器器具 スリープ・インサート 建築 ツール 加工	レブ[] Rebro2025 表示 アドイン	施工 🕶 約 👻 🍕	0 ×
KK         使存在         9501         田樹         日ビー級の付け         日本         作用         原用         医素素変         産構用定           ************************************	<ul> <li>→ 新規図面</li> <li>→ 新規図面</li> <li>→ 上書き保</li> <li>→ しまき保</li> <li>→ しまき保</li> <li>→ しまき保</li> <li>→ 山田</li> <li>→</li></ul>	は存 て保存 ▼ ○ 読み込み ▼ ① ログイン ● ログアウト	<ul> <li>              ← クリップボードヘコピー             ← いっプボードヘコピー             ←             らり付け             らり付け             を             まやブチャ      </li> </ul>	回枠化         ガ         ジョン           ション         ・グラン         ・「新統選手           ※ 図面のプロパティの記入         ・情報         オプション ・	訳 👻 選択モード 🖓 🍡
(パーー型)       (パーー型)       (パーー)       (パー)       (パー)<	開く 保存 	クラウド 平面図 1/50 [平面] ▼	印刷   コピー・貼り付け	回枠         外部         情報         要素選択           □ 現在のレイアウト         ∨           □ ガルーブ         ∨         すべて	座標指定 ● レイヤー一覧
・       ・       24x       24x       10x-1       小田学       要素数         ・       ・       21       第       第       第       第       第       10x-1       10x-	ログ		×	✓ # ★ 参 36 田日 状態の一時	<b>交り込み</b> クリア 記憶 記憶 反映
<ul> <li>□ □ 4 5 方向図</li> <li>□ □ 7 再面全体図</li> <li>○ □ 4 5 方向図</li> <li>○ □ 7 再面全体図</li> <li>○ ○ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</li></ul>	● 全体 ● G レイアウトグループ1 ・ G F 単面図 本 □ 平面図 1/50 [平面]	汎用 建築 設備 ジルー 空調 衛生 電気 ジルー		表示 検索 レイヤー名 ※ あ み 日 ジ 汎用 ※ み み □ メンテナンススペース あ み ひ 団 仮線	要素数 0 0
		→ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2億 記憶 反映 ▼ 色 : ■ 171 -	<ul> <li>満 込 ■ 加工番号</li> <li>満 辺 形</li> <li>一 満 込 ■ 図形</li> <li>数 満 込 ■ 図枠</li> <li>数 満 込 ■ 寸法線</li> </ul>	0    0 36 0
	○ 前易制御(区分)	<ul> <li>● 3. ● 1, 129-ト</li> <li>● 3. ● 1, 128具</li> <li>● 3. ● 1, 21-ブ(型)</li> <li>● 3. ● 1, 21-ブ(型)</li> </ul>	■ 171 - ■ black - ■ 30 -	マス スト 第二 2 2 3 2 3 3 3 4 3 5	0 0 0
	<ul> <li>ある。 建築</li> <li>ある。 空間一配管</li> <li>みる。 一切りト</li> </ul>	<ul> <li>み、み、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、</li></ul>	30 - 30 - black -		0 0 0
OK         キャンセル         ●         ●         B水反面面(その他)         0           ●		レイヤーの作成 X 削除 ▼ グループの編集 設定 ▼	選択したレイヤーを画面上で要素選択する	<ul> <li>         み み         <ul> <li>                 ・                 ・</li></ul></li></ul>	0 0 0
			OK キャンセル	<ul> <li>み み</li> <li>あ み</li> <li>み み</li> <li>あ み</li> <li>み み</li> <li>あ み</li> <li>あ み</li> <li>み み</li> <li>み</li> <li>み み</li> <li>み み</li></ul>	0 0 0
	レイアウトグループ1 < 平面図 4方向図 平面: ■ メッセージ → 進捗管理 目 部屋路7	全体図 ] ]		<ul> <li>         →          →          →</li></ul>	の壁) 0 0

Rebro図面の読み込み  $\times$ DWG形式で保存  $\times$ 基本 レイヤー サンプル事務所完成.dwg グループの設定 ○ 元の図面のグループを引き継ぐ 🕜 ○ グループにファイル名を設定する 基本 レイアウト 設定 レイアウト ファイル名の設定 ○ 現在開いているレイアウトだけ保存する ○ 既存のレイヤーに読み込む 🕜 ● 複数のレイアウトを保存する ○ 新しいファイル名のレイヤーに分ける ■ ✓ レイアウトグループ1
 ■ ✓ 各階 🔽 元のファイル名を使用する レイヤーの選択(読み込むレイヤーを選択します) 🔽 要素のないレイヤーは読み込まない 🔾 区分 🔹 グループ 2 壁 - IfcWallStandardCase
 2 壁(外壁) - IfcWallStandardCase
 2 壁(外壁) - IfcWallStandardCase
 2 末 - IfcCovering
 2 末 - IfcSlab
 2 末 - IfcSlab
 2 末 - IfcBeam
 2 末 - IfcBeam
 2 末 - IfcDeam
 2 末 - IfcDeam Ξ すべて選択 すべて解除 レイアウトの保存方法 ○ レイアウトを横に並べる ○ レイアウトを原点で重ねる ✓ 施工区分 ○ レイアウトごとに別ファイルに保存する  $\pm$   $\equiv$ すべて選択 すべて解除 ок キャンセル ок キャンセル

No.67 [Rebro読み込み]でレイヤー選択時の区分/グループに対応

No.68 [DWG形式で保存][DXF形式で保存]でレイアウトグループごとに保存

🖲 📜 🚽 🛷 鑽設定 🥌 レイヤー 🊏 🔥 🏧 CG 丹 🔻		レプロ Rebro2025			-	
艶 ホーム 図形 配管 ダクト 電気 機器器具 スリーフ	・インサート 建築 ツール 加工 表示 アドイン 🕫	➡ 寸法線の作図		施工 ▼	<b>k7 ▼</b> 64 ▼ 73	) _ 8 ×
区分 O 座社 O 引と フォント HGPコ シックM ~ IA	矢印 ● ✓ 1 ↓ ▼	🗌 距離を入力する	□高さ 0 mm ∨ 1FL	▼ ~ 泉種 ▼	🔊 🗗 ピッ	ቻ 10 mm 🛛 🗸
レイヤ 〇 要 〇 円 サイズ 3 mm ~ 縦横比 80 % ~ 🛃	要素とリンクする     全体の寸法線を作成する     マ	1000 mm		~	🥗 🏰 角周	£ 90 ° ~
○ 今 □ 常に画面方向に向く □ W×H表記	✓ 引出し線の自動調整 <○			~	オプション 🔻 基準	≰0° <b>-</b>
レイ 指定 方向 文字の書式	矢印	距離	高さ	接頭 表示	要素選択	座標指定
No.69 寸法線の引出し線の自動調整の設定						

8 I. 🖬	- 	設定 🥩 レイヤー	j" 🔥 🔤	cg 丹 ·	•						レブロ Rebroi	2025					_	٥	×
೨ ホーム	図形	配管 ダクト	電気 機器	器具	スリーフ・インサー	建築	ツール	加工	表示	アドイン						施工 ▼	kg - (al - 🔁	-	₽×
000 通り芯の 一括作図	(A) 通り芯の 作図	◎ 置き換え 参表示/非表示 ④ 印刷範囲	▼331 ▼231 ▼1月 ▼1月 マロアの 設定	▼2FL ▼1FL フロア線の 作図	) 梁	杜	▼ 壁	床 天 ▼	) (計  根	③ フーチング ▼ ご 軽量鉄骨	<ul> <li>フィレット</li> <li>二 分割</li> </ul>	↓ ■ 窓	◇ 天井点検口 ○ 壁点検口 ◇ 床点検口	材質記号   仕上げ線	.絡 ▼	■ 調査 確認	一 系統選択     ・     オブション ▼	選択 () () () () () () () () () ()	モード
	通りお	5	70	17			颊	体			編集	建具	点検口	注記·図面	包絡	防火	要素選択	座標指	定

No.101 [フロア線の作図]をリボン上に移動

🎨 👢 🔐 🛷 🎇 設定 🥩 レイヤー 🍸 🔥 🏧 CG 🎍	-		レブロ Rebro2025			- 0 ×
ホーム 図形 配管 ダクト 電気 機器器具	スリーフ・インサート	建築 ツール 加工 表示	アドイン		施工 ▼	🖌 🖛 👘 🗸 👘 🕶 🔁
A □ サイズ変更 □ □ サイズ変更 □ □ サイズ変更 □ 編集 □ □ 報集	/ 仮線 ▼	○円 (○雲マ □矩形 ) ●塗り	- ク 頑城 つ フィレット マ (前囲複写) * 10 スト ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・レッチ	<u>م</u>	──── 系統選択 ▼ 選択モード
文字 ▼   臣 吾 吾 薑 🔤 寸法線 ▼   🛗 引出し線追加	▲ 📫 削除 🛛 🔻	線 ▼ / 矢印   網挂	け 、 立体 🔻 🕂 分割 🔻 🧏 断面に展開 その他	の編集 の編集 ▼	:	オプション 🔻 😡 グループ
文字 寸法線	仮線		汎用図形	設備 表	属性	要素選択 摩標指定

No.97 汎用図形の注記コマンドをリボン上に移動





共通/東日

□ 正面図

右面図

デ色太線ハ

ペロ形縦横

面積
 フロアと高さ 基準フロア 高さ
 田 系統管理

∃ 幾何情報 共有ビュー

⊞⊟

Ctrl+左クリックで要素を追加選択、Shift+左クリックで選択要素の解除

🥵 👢 🕌 🛷 🎇 設定 🥌 レ	(ヤー 🎬 🚵 🔤 CG 🌁 🔻		レプロ Rebro2025		-	o ×
艶 ホーム 図形 配管 ダ	ワト 電気 機器器具 スリープ・インサート 建築 ツール 加工	表示 アドイン			施工 🔻 🛵 🕶 🕬 👻	🕾 _ & ×
→ 新規図面 ▼ し、最近使った図面 ▼	上書き保存 「シラウドから開く 「クラウドに保存」	ङ 🥪 माम्र	🗅 クリップボードヘコピー 🔻 💽 🏹	図枠 <sup>二</sup> 図枠化 世 日 -	プ ジョン	択 👻 選択モード
開く 👢 読み込み 🛛 🔻	🔄 名前を付けて保存 👻 📿 読み込み 👻 🗍 ログイン 📑 ログアウ	>ト 🛷 連続印刷	🥵 画像ファイルの貼り付け キャプチ	ヤ 面のプロパティの記入 -	情報 ト作図 オプション ▼	∞ グループ
開く	一括保存 ♪ クラウド	EDIRA	コピー・貼り付け	図枠 外部	情報 カス 要素選択	座標指定
-	DXF/DWGファイルとして保存 JWWファイルとして保存 X2	×3	×4	×5 *		
70	BE-Bridgeファイルとして保存					ž
15-4	IFCファイルとして保存 ▶ IFCZIP					4-
-	PDFファイルとして保存		Ĭ			
+	STLファイルとして保存					派
递播	レイアウトを別ファイルとして保存					1
P	過去バージョンのRebro形式に変換 ▶					
-	IFC形式で保存		× ● 圏 IFCの出力設定		×	
722			思方われしタ 1715	10-中 U #C11		*
<u>1-31</u>	アイルハーション IFG4.0 設備IFCデータ利用標準 Ver20		איז	10.2.2. 40.5	の変更設定の保存	
<del>ت</del>	サンプル事務所完成.ifc			A	川除 コピー	回日
	保存する範囲		IFC、設備IFCデータ利	用標準		
547	○ モデル全体を保存する		IFC4.0、設備IFC Ve IFCプロパティセット	er.2.0 の設定	~ 🕑	Ĩ
7 <b>5</b> 1	つつアを選択して保存する		R 1			
	✓ 717032€ ✓ RFL (+19000)		☐ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	31		
			要素の種類			
			記管 ダクト	🔽 制気口 🔽 電気 🔽 機器	₽·器具	
	- ✓ 2FL ( +3800 ) - ✓ 1FL ( +0 )		建築	ブ 🔽 鋼材 🔽 3D図形 🗌 🤉	スペース 🗹 防火・防煙区画	
		て選択 すべて解除	色の設定 CG色に設定されて	「いる色で得存する		
	○ ビューを選択して保存する		曲面部公の公割結度			· · ·
レイアウトグループ1 < < >	半面(2)(1/50)	v	平面詞			
Ctrl+左クリックで要素を追加選択、SI			23. 表示精度 粗い	やや粗い 普通 や	や綺麗 綺麗	7 1FL+0
	IFC、設備IFCテーダ利用標準 1998年会		(テーダ重) (小)	(中)	(天)	
	1) 所改定 IFC4.0、設備IFC Ver.2.0	- 1	<ul> <li>         直部形状の保存方法         <ul> <li>             面形状(Brep)で係             </li> </ul> </li> </ul>	<b>保存する </b> 😡		
			● 押出し形状(Swep)	tSolid)で保存する		
		OK キャンセ	ル保温形状の保存方法			
			<ul> <li>保温形状を保存す</li> <li>保温形状を保存す</li> </ul>	<b>「る 100</b> われ径で保存する		
	/ No.79 IEC出力機能の改善		○ 保温形状を lfc	Covering( IfcCoveringType ) で保存する	3	
	10.701-0山川版肥の政告		文字書式の保存方法			
			○ シフトJIS文字書式	で保存する		
			Unicode文字書式	C1#11-9 ©		
					OK キャンセル	

#### No.79 IFC保存で保温形状の出力に対応

1





No.88 シーン名をコンテキストメニューからの変更に対応



Ⅲ.機能アップ	Ĵ
---------	---

全94件

No.	タイトル	│内容
シ	ミュレーション・部屋諸元	
1	部屋諸元で計算式や条件式、Excel入出力 に対応	部屋諸元で、下記の機能に対応しました。 ・「部屋の諸元」の項目タイプに[計算式]、[条件式]を追加しました。 ・「機器器具の情報」の項目タイプに[風量]を追加しました。 ・分類名やタイトル表示名変更時に、部屋諸元記入文字のリンクを差し替えるようにしました。 ・部屋諸元記入文字のリンク先や値を編集できるようにしました。 ・[部屋諸元]パネルから機器の台数を変更できるようにしました。 ・Excelファイルの保存、読み込み、参照をできるようにしました。
2	排煙計算で排煙口の自動選定・自動配置に 対応	<ul> <li>排煙計算で、下記の機能に対応しました。</li> <li>・部屋要素にリンクした排煙エリアの設定</li> <li>・エリア面積から排煙に必要な風量の算出</li> <li>・必要な排煙ロの開ロ面積を指定した通過風速から確認</li> <li>・必要な排煙和の自動一括配置</li> <li>・ジャンクした部屋要素へ排煙口の自動一括配置</li> <li>・排煙口の同時開放エリアの指定</li> <li>・シミュレーション「パネルー[排煙計算]の[排煙エリア]ボタンから上記の機能を持った[排煙エリア]パネルが表示できます。</li> <li>[排煙エリア]パネルは図面と連動しており、部屋要素や排煙ロサイズ、プロパティなどの変更内容が即座に反映されます。</li> <li>[排煙エリア]パネルで変更した内容もリアルタイムで図面上の要素に反映します。</li> <li>「精報の一貫性を維持しながら排煙系統の作図やシミュレーション、帳票出力を行うことが可能です。</li> </ul>
3	外部参照ルートを含めたシミュレーションに 対応	配管抵抗計算・圧力損失計算・排煙計算で、外部参照のルートを含めたシミュレーションに対応しました。 [シミュレーション]パネル-[配管抵抗計算][圧力損失計算][排煙計算]の[追加][系統の単体追加][系統の一括追加][ルート選択][制気口][機器類圧力損失]][機器内圧力損失][その他の圧力損失]で、 外部参照ルートの要素を選択できるようにしました。
4	配管抵抗計算・圧力損失計算で系統のグ ループ機能に対応	配管抵抗計算と圧力損失計算で、系統のグループ機能に対応しました。 グループごとに系統の配管抵抗や圧力損失を一覧表示で確認することができます。 併せて、系統の一括追加に対応しました。 [シミュレーション]パネル-[配管抵抗計算][圧力損失計算]の[追加]で「系統の一括追加」を選択する と、選択した要素のルートから系統が一括取得されます。追加する系統を選択することもできます。 [系統の一括追加]ボタンでも同様に一括追加ができます。 排煙計算はRebro2024で系統のグループ機能に対応しています。
5	配管抵抗計算・圧力損失計算・排煙計算の 帳票様式を更新	配管抵抗計算・圧力損失計算・排煙計算で出力する帳票の様式を更新しました。 配管抵抗計算と圧力損失計算は、国土交通省「建築設備設計計算書作成の手引き」の平成30年度版から令和6年度版に出力時の書式を変更しました。 排煙計算は、令和3年度版から令和6年度版に出力時の書式を変更しました。
5	ラウドストレージ・外部参照	
6	クラウドストレージサービス「Dropbox」との連 携に対応	クラウドストレージサービス「Dropbox」との連携に対応しました。 [クラウドから開く][クラウドに保存]から「Dropbox」上のファイルを直接開く/保存することができます。 図面の外部参照、プロパティの参照、図枠の参照も対応しました。
7	クラウドストレージ連携でファイルの複数選 択に対応	下記のコマンドでファイルの複数選択に対応しました。 ・[ホーム]タブ-[クラウドから開く] ・[ホーム]タブ-[外部参照の設定]-[クラウドから追加] ・[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの参照]の[ファイルの追加]横の[▼]-[クラウドから追加]
8	クラウドストレージ連携でファイルIDでの参 照に対応	[外部参照の設定]でファイルを[クラウドから追加]で追加した時、クラウドサービス内のファイルIDで参照できるようにしました。 ファイル名やフォルダ名を変更しても参照が維持されます。
9	クラウドストレージ連携でファイルのダウン ロード時間の短縮	クラウドストレージ連携で図面を開く時、ローカルに図面ファイルのキャッシュを残し、ダウンロードする時間を削減する機能を追加しました。 [設定]-[一般]タブ-[ファイル]-[クラウドストレージ連携の設定]からローカルにキャッシュを残すかどうかを設定することができます。初期値は現状通り、キャッシュを残さないようにしています。
10	ロードする外部参照図面の選択	図面を開く時、ロードする外部参照図面を選択できるようにしました。 [設定]-[一般]タブ-[ファイル]-[外部参照ファイルの設定]が追加され、「外部参照図面をすべてロー ドする」「ロードする外部参照図面を選択する」「外部参照図面のロードをすべてスキップする」から外 部参照図面のロードの仕方が選択できます。ロードをスキップした場合、[外部参照の設定]で[更新] を選択することで図面を開いた後に参照することもできます。

11	[過去バージョンのRebro形式に変換]で取り 込み外部参照図面の同時変換に対応	[ホーム]タブ-[名前を付けて保存]-[過去バージョンのRebro形式に変換]で、取り込み済みの外部参照図面が存在する場合、その図面も併せて変換するようにしました。 変換された取り込み済みの外部参照図面には、元図形状のレイアウトは追加されません。 レブロビューアの[ツール]タブ-[過去バージョンのRebro形式に変換]も同様に対応しています。
西	2管/ダクト 共通	
12	ガラリに接続ロを追加	[ダクト]タブ-[制気口]-「ガラリ」に接続口を追加しました。 接続口の追加により、ボックスとの接続が可能になりました。ルート作図やクイック結合で接続できま す。 併せて、ガラリの配置時にシミュレーションの項目を追加しました。
13	プロパティ項目[システム用途]の追加	プロパティ項目[用途]に[システム用途]を追加しました。 [配管][ダクト][電気]タブ-[用途の設定]の[用途の編集]ダイアログの「システム用途」が表示されま す。既存のプロパティ項目[用途]-[用途]には「名称」が表示されます。 システム用途は用途のグループとして、[プロパティの保存]などで使用することができます。
14	用途の[略号]–[文字列]の拡張	[配管][ダクト][電気]タブ-[用途の設定]の[用途の編集]ダイアログの[用途の属性]タブの[略号]-[文 字列]を拡張し、単線ルートに表示する用途の表現と、サイズ記入に表示する用途の表現を分けられ るようにしました。 同じ文字列を単線ルート・サイズ記入に表示することも可能です。 また「文字列」は、任意の文字列にするかシステム用途名にするかを選択することができます。 これにより同じ用途で、単線ルートには「線種」の設定で表示し、サイズ記入には「文字列」の設定で 表示する、という使い方が可能になります。
15	要素選択後にルート作図コマンドを起動した 時の属性取得に対応	要素を選択した状態でルート作図コマンドを起動した時、選択要素の属性を取得するようにしました。 作図する要素と同じ要素が選択されている場合、リボンの[属性のスポイト]のオン/オフにかかわらず、すべての属性を取得した状態でコマンドが起動します。 すべてのルート作図コマンドと、竪ルート作図コマンドが対象です。 併せて、図面上の部材を選択した状態で部材の配置コマンドを起動すると、選択要素と同じ部材が 選択されるようにしました。
16	部材配置時にルートに挿入せずに配置	[配管][ダクト][電気][機器器具]タブの部材の配置コマンドに、[ルートに挿入する]のチェックを追加しました。 [ルートに挿入する]のチェックを外すとルートの有意点を指定しても、ルートに挿入されず配置できます。[ルートに挿入する]のチェックを入れると従来の動作になります。
17	R32の冷媒サイズを追加	[設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]-[配管・ダクト・電気共通]-[冷媒サイズ]の出荷値 に、R32の冷媒サイズを追加しました。 それに伴い、以下のサイズを追加しました。 ・「9.5×6.4」「22.2×12.7」「31.8×15.9」「15.9×12.7×9.5」「22.2×15.9×9.5」「22.2×19.1×12.7」 「31.8×25.4×15.9」「31.8×28.6×15.9」(2管式3点、3管式5点、計8点)
Ē	<b>〔</b> 気	
18	[配線管理]で幹線亘長の取得に対応	[配線管理]に幹線専用の画面を追加し、接続点区切りの幹線亘長を取得できるようにしました。 [電気]タブ-「配線管理]で、既存の設定画面を[配線]タブに移動して[幹線]タブを追加しました。 [幹線]タブには、「盤の管理]で設定した盤情報が自動取得され、接続点区切りで幹線情報を設定す ることができます。経路も接続点区切りで設定できるようにするため、ケーブルラック上の座標を指定 できるようにしました。「系統」で色を設定することで、[軌跡の確認]から接続点区切りで色分けした経 路を確認することができます。 また、「盤の管理]-「盤のタイプ]の項目タイプに[配線管理]で設定した幹線情報を自動取得する下記 項目を追加しました。 「系統」「幹線枝番号(配線管理)」「幹線種類(配線管理)」「幹線太さ(配線管理)」「亘長(配線管理)」 併せて、[幹線]タブの内容のExcel入出力に対応しました。外部ツールでの幹線サイズ選定などで活 用できるようになります。 [配線管理]上やその出力データで幹線の繋がりを視覚的に確認できるように、[盤の管理]-[盤のタイ プ]に「系統」を追加し、系統の線を絵表現として設定できるようにしました。「系統」は[配線管理]に反 映される項目です。
19	[盤の管理]で数値のカンマ表示に対応	[電気]タブ-[盤の管理]の下記項目で、数値のカンマ表示に対応しました。 「運転時の定格電流[kA](合計)」「運転時の定格電流[A](合計)」「運転時の最大電流[kA](合計)」「運 転時の最大電流[A](合計)」「運転時の定格電流[A](個別)」「運転時の最大電流[A](個別)」「台数」 「負荷容量[kVA](合計)」「負荷容量[VA](合計)」「負荷容量[kW](合計)」「負荷容量[W](合計)」「負荷 容量[kVA](個別)」「負荷容量[VA](個別)」「負荷容量[kW](個別)」「負荷容量[W](個別)」
20	[盤の管理]ダイアログの[図面から回路番号 の取得]で追加行を選択	[電気」タフー 盤の管理」の[行の挿入]横の[▼]-[図面から回路番号の取得]で追加された行が確認で きるようにしました。 追加されたすべての行を選択状態にし、その先頭行にスクロールするようにしました。

21	日本電設工業協会(JECA)標準書式の盤リ スト出カに対応	日本電設工業協会(JECA)が2024年に公開した標準書式の盤リスト出力に対応しました。 [盤の管理][データリンク]の出荷値に標準書式の設定を追加しました。 [電気]タブ-[盤の管理]で下記の[盤のタイプ]を使用して盤情報を入力することで、[ツール]タブ- [データリンク]の下記[タイプ]で標準書式の盤リストが出力できます。 ・配電盤<日本電設工業協会(JECA)標準書式> ・分電盤<日本電設工業協会(JECA)標準書式> ・動力盤<日本電設工業協会(JECA)標準書式>
22	機器器具の部材情報と電気属性をリンク	[部材の配置]ダイアログ-[プロパティ]タブの部材情報を、プロパティカテゴリ[電気属性]とリンクする機能を追加しました。 [部材のプロパティ]ダイアログで、[電気属性]に対応する[仕様属性項目]を設定し、[BLCJ標準コード とのリンク]にチェックを入れることで[電気属性]とリンクされます。 対象となる電気属性と仕様属性項目は以下の通りです。 ・負荷容量[W/kW] ⇒ 消費電力(ELECONSUM) ・負荷容量[W/kW] ⇒ 負荷容量(MVA_IN) ・相 ⇒ 相(PHASE) ・電圧[V] ⇒ 電圧(VOLTAGE) ・運転時の定格電流(A) ⇒ 運転電流(OPE_A) ・運転時の最大電流(A) ⇒ 運転電流(OPE_A) ・運転時の最大電流(A) ⇒ 運転電流(OPE_A)かつ条件設定に最大(MAX)を含む
23	回路番号の添字の複数対応	回路番号の添字を3つまで設定できるようにしました。 [回路番号の設定][電気配線の作図][器具接続][立上り・引下げの作図]で設定できます。 [回路番号の記入]で2つ目、3つ目の添字を回路番号とあわせて作図できます。 [盤のタイプ]で[回路番号の添字(2)(結合)] [回路番号の添字(3)(結合)]を設定することで、2つ目、3 つ目の添字を[盤の管理]に表示することができます。
24	条数記号の追加、編集の複数要素対応	[電気]タブ-[条数記号]で複数の配線要素に対して追加、編集できるようにしました。 編集箇所のハンドルをクリック、もしくは範囲選択で、複数の記号の編集ができます。 [サイズ変更]で記号のサイズを0%にすると記号を非表示できるようにしました。 [サイズ変更]、[条数記号の添字の位置変更]で「すべてのビューで変更する」「現在のビューだけで 変更する」を追加しました。
25	条数記号の記号と添字の背景	電気配線のプロパティ項目[配線]に[記号背景][添字背景]を追加しました。「透明」と「用紙色」の切り 替えが可能です。 [電気]タブ-[条数記号]-[追加]に、[記号の背景を透明にする][添字の背景を透明にする]のチェック を追加し、追加時にも設定できるようにしました。
26	条数記号の記号のサイズ	電気配線のプロパティ項目[配線]に[記号サイズ][添字サイズ]を追加しました。要素選択したビュー ごとのサイズを変更することができます。
27	配線の省略記号に「記号なし」を追加	[電気]タブ-[電気配線の作図]のコンテキストメニュー[端部記号]の「省略」で、ドロップダウンに「記号なし」を追加しました。 端部記号なしの配線を[端部から盤まで接続する]で作図できるようになります。
28	ケーブルダクト・レースウェイの定尺割りに 対応	ケーブルダクトとレースウェイの定尺割りに対応しました。 [電気]タブ-[ケーブルダクト][レースウェイ]でルート作図する時、定尺割りされるようにしました。 [表示]タブ-[図面表現]の[電気]-[作図規則]で定尺長さと最短長さを設定できます。編集時に再割り 付けを行うかも選択できます。 併せて、[加工]タブ-[ラック・バスダクトの定尺]のコマンド名を[定尺の編集]に変更し、ケーブルダクト とレースウェイの定尺も編集できるようにしました。
29	非常用照明の照度範囲の一括編集に対応	非常用照明の照度範囲の一括編集に対応しました。 [電気]タブ-[照明器具]-「非常用照明」の[配光データ]タブ-[設定]で、各取り付け高さの照度範囲の 値をテキスト編集できるようにしました。 [テキスト編集]ダイアログの値をExcelなどに貼り付けることで、より容易に編集ができるようになりま す。他の非常用照明の設定値を貼り付けることもできます。
名	種パネル	
30	ウィンドウのフローティングに対応	ウィンドウをメイン画面から分離できるようにしました。 [表示]タブ-[フローティング]で、カレントウィンドウが複製されて分離しフローティング状態になります。 また、[ホーム]タブ左横のアイコンのプルダウンメニューから[フローティング]をクリックすると、カレント ウィンドウがそのままフローティング状態になります。 フローティング状態のウィンドウでもメイン画面と同様に作図することができます。メイン画面とフロー ティングで同じ図面を開いている場合、ウィンドウ間での渡り書きに対応しています。 別図面を開いている場合でも、それぞれで作図することができます。図面上をクリックすることで、カレ ントのウィンドウが切り替わります。 全体図を確認しながら詳細図を仕上げたり、平面図と断面図を渡り書きすることができるようになりま す。

_		
31	クイックアクセスツールバーのフローティング に対応	フローティングするクイックアクセスツールバーに対応しました。 [設定]-[一般]タブ-[操作環境]-[クイックアクセスツールバー]の[フローティング]タブから、既存のク イックアクセスツールバーとは別のコマンドをフローティングクイックアクセスツールバーに設定できま す。 既存のクイックアクセスツールバーとは別にフローティングクイックアクセスツールバーが表示されるた め、用途によってクイックアクセスツールバーを使い分けることができます。
32	リボンのカスタマイズ機能を追加	リボンをカスタマイズできるようにしました。 [設定]-[一般]タブ-[操作環境]-[リボン]で、[リボンをカスタマイズする]のチェックを入れるとリボンを カスタマイズできます。リボングループ単位で任意のコマンドを任意の位置に追加することができま す。サブメニューやセパレータの追加、コマンドボタンのサイズ指定などもできます。 システムのリボングループは表示・非表示の切り替えに対応しています。システムのリボングループを 非表示にすることで、カスタムリボンのみを表示することができます。表示・非表示はリボンのコンテキ ストメニュー[リボンのカスタマイズ]からも切り替えられます。 リボンのカスタマイズでのコマンド検索の対応に併せて、[設定]-[一般]タブ-[操作環境]-[ショートカッ トキー][コンテキストメニュー][クイックアクセスツールバー]でも対応しました。
33	[系統管理]にビュー専用要素を対象とする 機能を追加	[系統管理]パネル-[系統管理の分類]-[対象要素]に[平面ビュー共通、ビュー専用を含む]のチェックを追加しました。 チェックを入れると平面ビュー共通とビュー専用の要素が系統管理の対象となり、チェックを外すと従 来通りビュー共通の要素のみが系統管理の対象となります。 また、[系統管理]パネル-[系統管理の分類]-[対象要素]-[要素]タブの[対象とする要素]ツリーに下 記を追加しました。 ・「仮線」「画像」「表」「2D図形」「記号」「形状データ」「スペース」
34	[系統管理]パネルから一括で色分けできる 機能を追加	[系統管理]パネルの[色分け]で、一括で色分けできる機能を追加しました。 [色分け]ダイアログからチェックを選択して、一括で色分けを行うことができます。
35	外部参照ファイル同士を干渉検査しない設 定を追加	[ツール]タブ-[干渉検査]に、[外部参照ファイル同士を検査する]のチェックを追加しました。 [開始する]横の[▼]-[その他]タブ-[外部参照ファイル同士を検査する]のチェックを外すと、外部参 照ファイル同士の干渉を無視することができます。
R	evit連携	
36	Revitのファミリをレブロのユーザー部材に変 換	Revitのファミリをレブロのユーザー部材に変換できるようにしました。 ファミリに登録したタイプごとにユーザー部材に変換できます。 Revitアドイン側の[Revitファミリをレブロ部材に変換]で、ファミリをレブロリンクファミリファイル (*.RebroLinkFamilyFromRevit)で保存し、レブロ側の[機器器具]タブ-[ユーザー部材]-[設定]-[レブ ロリンクファミリファイルの読み込み]でレブロのユーザー部材として取り込み、図面に配置することが できます。
37	Revitの[レブロ入力]で、集計パラメータへレ ブロのプロパティを読み込み	Revitアドイン側の[レブロ入力]で、集計キーで定義したパラメータ項目にレブロのプロパティ項目を マッピングして値を読み込めるようにしました。
ア	ドイン	
38	InfiPoints連携で点群データの参照に対応	エリジオンの[InfiPoints連携]でInfiPointsの点群データをレブロのCGに参照表示できるようにしました。 [点群参照の設定]でレイヤーの表示・非表示や点のサイズを切り替えられます。 [オルソ画像の貼り付け]で図面上にCGで参照表示している点群をオルソ画像として貼り付けることも できます。 併せて、[InfiPoints専用レブロリンク形式の読み込み]で原点位置を指定して読み込めるようにしました。
39	施工管理ツール「ANDPAD」との連携	アンドパッドの施工管理ツール「ANDPAD」との連携機能に対応しました。 レブロで作図した図面から、風量測定に必要な情報をANDPAD用にCSV形式ファイルで出力できま す。
40	MEL-BIM連携で冷媒配管選定機能に対応	三菱電機の[MEL-BIM連携]で「冷媒配管」に対応しました。 「冷媒配管選定支援アプリケーション」(以下MEL-BIM)との連携が可能になります。 レプロ図面上の冷媒配管の系統のデータをMEL-BIMに渡して冷媒配管の管径を再計算し、その結 果をレブロ図面に反映することができます。(2025年5月頃、MEL-BIMリリース予定)
41	[BIMXDIこ図面情報を保存する]でIFCプロパ ティセットを設定	BIMXD連携の[BIMXDに図面情報を保存する]コマンドでIFCプロパティセットを設定できるようにしました。
42	 ルミナスプランナーのIFC4.0対応	ルミナスプランナーのIFC4.0の対応に伴い、[IFCファイルとして保存][IFC読み込み]でのルミナスプ ランナーのPset名を更新しました。 IFC4.0の場合はPset名を「Panasonic_LP」で扱います。 IFC2x3の場合はPset名を従来通り「Pset_Panasonic」で扱います。
43	ルミナスプランナーの照明器具を配置する 時の向きを変更	[メーカー提供部材]-[ルミナスプランナー]-[照明器具の配置]で、照明器具の図を90°回転して配置していましたが、回転せずに配置するように変更しました。 それに伴い、配光データの取付け角度を「0°」から「-90°」に変更しました。 [ルミナスプランナー]の履歴はクリアされ、2025の出荷値に変わります。

44	ルミナスプランナーから出力したIFCファイル の取付け角度の変更	ルミナスプランナーから出力したIFCファイルを読み込んだ時、照明器具の配光データの取付け角度 を「0°」から「-90°」に変更しました。
45	ルミナスプランナー連携で反射率の手入力 に対応	ルミナスプランナー連携の[照度分布図]で、計算条件となる「天井反射率」「壁反射率」「床反射率」 を手入力で任意の値を設定できるようにしました。
46	ルミナスプランナー連携で部屋の複数選択 に対応	ルミナスプランナー連携の[照度分布図]で、部屋要素の複数選択に対応しました。 部屋形状が[部屋を選択]の場合に複数選択できます。照明器具表・計算結果表を一括配置できるようになります。
		みつもりくん連携で、幹線亘長の出力に対応しました。 既存の出力項目に対して、[配線管理]-[幹線]タブの内容が出力されるようにしました。
47	みつもりくん連携で幹線亘長の出力に対応	併せて、「配線管理」も「グループ」を出力するようにしました。 [配線]タブの場合、「電気 / 配線管理(幹線)」と出力します。[幹線]タブの場合、「電気 / 配線管理 (配線)」と出力します。
建	築	
48	[H鋼梁]の端部の形状にハンチ・水平ハンチ を追加	[H鋼梁]の端部の形状にハンチ・水平ハンチを設定できるようにしました。 開始側と終了側の端部にそれぞれ設定することができます。
49	[梁]にプロパティ項目[梁下の距離][検索フ ロア]を追加	[梁]にプロパティ項目[サイズとルート]-[梁下の距離][検索フロア]を追加しました。 梁の下から[検索フロア]で指定されたフロアラインまでに存在する天井もしくは部屋までの距離を自 動で[梁下の距離]に表示します。
Ŧ	データリンク/プロパティ	
		[ツール]タブ-[データリンク]のExcelテンプレートファイルのパスとして相対パスが指定できるようにし ました。
50	[データリンク]のExcelテンプレートファイルの 相対パス対応	現在開いている図面が存在するパスを基準とした相対パスとなります。 これにより、図面とExcelテンプレートファイルのフォルダ構成が維持できれば、他のPCでもExcelテン プレートファイルのパスを変更せずにデータリンクを利用できるようになります。
		[データリンク]で盤名称を[盤の管理]と同じ順で出力できるようにしました。 [ツール]タブ-[データリンク]の[Excelのセル位置指定]で、「盤の項目を指定」の「盤の項目の設定」に
51	[データリンク]で[盤の管理]の順番で盤名称 の出力に対応	盤の管理と同じ盤の順番で出力する]のチェックを追加しました。 チェックを入れると、[電気]タブ-[盤の管理]と同じ順番で盤名称を出力できます。 [盤の管理]で盤を並び替えることで、[データリンク]でも任意の順で盤名称を出力できるようになりま す。
		[ツール]タブ-[データリンク]で、機器器具の部材情報に関連付けられる「BLCJ標準 仕様属性項目」
		を扱えるようにしました。 [ツール]タブ-[データリンク]-[Excelのセル位置指定]でカテゴリ「部材情報(BLC]標準仕様属性項 PL)の、地界明日の「PLC」標準仕様尾性原目の追加、更新が可能になります。
52	データリンクでの「BLCJ標準 仕様属性項 目」対応	日月の、機器器長の「BLC」標準 任体腐性項目」の追加・更新が可能になります。 また、カテゴリ「部材情報(BLC]標準)」のプロパティ項目で、メーカーごどの部材情報の表記のゆらぎ を気にせず部材情報のプロパティ値の参昭・変更が可能にたります。
		なお、本機能はプロパティ[部材情報]-[機器分類コード]を表示している要素を対象としています。 Rebro2018SP1より前に作図された機器器具は、[部材の編集]を実行することで機器分類コードを表
		「「することができます。」
		[機器器具]タブ-[ユーザー部材]の[ユーザー部材の配置]ダイアログ-[設定]にある[ユーザー部材の プロパティの保存/読み込み]でBLCJ標準仕様属性項目に対応しました。
50	[ユーザー部材のプロパティの保存/読み込	ユーザー部材のプロパティ項目に登録済みの仕様属性項目を「ユーザー部材のプロパティの保存」 で出力し、そのExcelファイルを更新して「ユーザー部材のプロパティの読み込み」で読み込むことで、 コーザー 部材の変換なり仕様屋供原目を更新するこしがつきます
53	み]のBLCJ標準仕様属性項目対応	ユーサー部材の登録済み仕様属性項目を更新することかできょす。 併せて、[ユーザー部材のプロパティの保存]でユーザー部材が未対応のプロパティ項目を出力する と"[NULL]"文字列を出力できるようにしました。このExcelファイルを更新して[ユーザー部材のプロパ
		ティの読み込み]で読み込むと、ユーザー部材のプロパティ項目を削除することができます。
- 4	カスタムプロパティの条件式で値の複数設	[ツール]タブ-[カスタムプロパティの追加/編集]で形式「条件式」を選択した時、値を複数設定できる ようにしました。
54	定に対応	値ごとに条件を設定することができるため、風速やサイズを範囲で分けることができるようになります。
		[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの保存]の[プロパティ以外の項目]に[接続情報(接続数)][接 続情報①(GUID)]~[接続情報(50)(GUID)]を追加しました。
55	「プロパティの保友フリー 按結棲恕たン自物	機器・器具、配管、ダクトの要素に対して、接続されている要素の数とそのGUIDを出力できます。 [ツール]タブ-[データリンク]にも同様の項目を追加しました。
55	L / H / / / イ // 床 行 J 〜 按 杭 1月 報 ど 迫 /JI	併せて、機器・器具のプロパティ項目[接続口情報]に[接続口数]を追加しました。 要素が持つ接続口の数とそのサイズが表示されます。
		配官、タクトにもフロハアイ唄日  接続口情報  を追加しました。

56	[プロパティの保存]のコマンドライン対応	[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの保存]をコマンドラインから実行できるようにしました。 バッチファイルなどから、レブロ図面とともに[プロパティの保存]から出力した設定ファイルを指定して 実行すると、[プロパティの保存]実行時と同等のプロパティ項目をCSVファイルで出力できます。
加	II	
57	スパイラルダクト加工のナンバリングで枝番 に対応	[加工]タブ-[スパイラルダクト加工]の[ナンバリング]で、系統名に「枝番」を付けてナンバリングできる ようにしました。 「枝番」を付けることで、複数直管と複数継手を1セットとしてナンバリングできます。
58	スパイラルダクト加エでプレハブリスト出力 に対応	[加工]タブ-[スパイラルダクト加工]に[プレハブリスト]を追加しました。 枝番を付けてナンバリングした場合、複数直管と複数継手を1セットとして寸法付きで出力できます。 プレハブリストのテンプレートはカスタマイズできます。 Rebro2024以前のバージョンの[加工図]-「レブロ図面」は[プレハブリスト]に統合しました。 枝番を付けずにナンバリングすることで、従来通り単体の直管継手ごとに出力できます。
59	スパイラルダクト加工で直管リスト出力に対 応	[加工]タブ-[スパイラルダクト加工]に[直管リスト]を追加しました。 枝番を付けてナンパリングした場合、複数直管を1セットとして出力できます。直管リストのテンプレー トはカスタマイズできます。 Rebro2024以前のバージョンの[加工図]-「Excel帳票」は[直管リスト]に統合しました。 枝番を付けずにナンバリングすることで、従来通り直管ごとに出力できます。
60	スパイラルダクト加工で継手リスト出力に対 応	[加工]タブ-[スパイラルダクト加工]に[継手リスト]を追加しました。 ナンバリングした継手をExcel形式で出力できます。 継手リストのテンプレートはカスタマイズできます。
61	スパイラルダクト加工でフレキシブルダクトリ スト出力に対応	[加工]タブ-[スパイラルダクト加工]に[フレキシブルダクトリスト]を追加しました。 ナンバリングしたフレキシブルダクトをExcel形式で出力できます。 フレキシブルダクトリストのテンプレートはカスタマイズできます。
62	ユニット図・プレハブリストでユーザー部材の 表示に対応	ユニット図とプレハブリストで、出力する系統に接続しているユーザー部材を表示できるようにしました。 下記で[ユーザー部材を表示する]のチェックを入れると、ユーザー部材も表示できます。 ・「加工]タブ-[配管加工]-[ユニット図] ・「加工]タブ-[スパイラルダクト加工]-[プレハブリスト]
63	出力する系統のツリー表示に対応	下記で、出力する系統をツリー形式で表示できるようにしました。 ツリー形式の場合、系統が名称順で表示されます。 ・[加工]タブ-[配管加工]-[加工集計][ユニット図] ・[加工]タブ-[スパイラルダクト加工]-[プレハブリスト][直管リスト][継手リスト][フレキシブルダクトリスト]
64	配管加工の[定尺の編集]に分割する継手を 選択する機能を追加	[加工]タブ-「配管加工]の[定尺の編集]に分割する継手を選択できる機能を追加しました。 [分割する継手の選択]にチェックを入れると選択されている継手で分割されます。 ベンドを起点として分割できるようにしました。 ラバー表示も、ベンドで繋がる配管を個別の配管として長さを表示します。 [手動割り]の「単体」でバーリング(配管加工用継手全般)の近くでメイン管を選択するとバーリングを 起点としてメイン管を分割できるようにしました。
65	配管加工のナンバリングに「グループ」「単 品」を追加	[加工]タブ-[配管加工]-[ナンバリング]の作図方法に「グループ」「単品」を追加しました。 「グループ」「単品」は「加工集計/ユニット図」と同時に設定することができます。 「グループ」はユニット図と同様に選択した要素を1セットとしてナンバリングします。 「単品」は個別の要素ごとにナンバリングし、弁類などの溶接箇所を「グループ」でもナンバリング することで、グループ単位のユニット図も出力する ・「加工集計/ユニット図」を[内容が重複した場合に同じ番号を使う]にチェックを入れてナンバリング し、「単品」でもナンバリングすることで、ユニークな個別番号で管理する 併せて、[加工]タブ-[配管加工]-[一覧][加工集計][ユニット図]で、ナンバリングの種類で系統を絞り 込めるようにしました。 [加工]タブ-[配管加工]-[番号記入][情報削除]では、ナンバリングの種類を指定できるようにしまし
基	本操作/操作性	
66	レイヤー名の絞り込みに対応	[表示]タブ-[レイヤー一覧]に、レイヤー名を絞り込む機能を追加しました。 複数の語句を入力してレイヤー名を絞り込むことができます。 絞り込みは表示だけで、Excel出力などには影響しません。 同機能を、下記にも実装しました。 ・[表示]タブ-[パネル]-[レイヤー] ・[表示]タブ-[CG]-[レイヤー]-[レイヤー一覧] ・[表示]タブ-[CG]のコンテキストメニュー[カットするレイヤー]

67	[Rebro読み込み]でレイヤー選択時の区分/ グループに対応	[Rebro読み込み][Rebro読み込み(レイアウト追加)]で、レイヤーを区分/グループ単位で選択できるようにしました。 [Rebro図面の読み込み][Rebro図面の読み込み(レイアウト追加)]ダイアログの[レイヤー]タブ-[レイ ヤーの選択]で「区分」「グループ」を切り替えることができます。 クラウド読み込みの[Rebro読み込み][Rebro読み込み(レイアウト追加)]も同様に対応しました。
68	[DWG形式で保存][DXF形式で保存]でレイ アウトグループごとに保存	DXF/DWGの出力で複数のレイアウトを保存する時、レイアウトグループごとに保存できるようにしました。 クラウドに保存する時も同様にレイアウトグループで設定できます。
69	寸法線の引出し線の自動調整の設定	[図形]タブ-[寸法線の作図]に[引出し線の自動調整]のチェックを追加しました。 2D寸法線の引出し線が要素の線と重複する場合、チェックを外すと引出し線を表示した状態で作図 できます。 チェックを入れると従来通り引出し線は自動で非表示となります。
70	[塗り領域][網掛け]に[枠の作図]を追加	[図形]タブ-「塗り領域][網掛け]に、 [枠の作図]を追加しました。 [枠の作図]にチェックを入れると、 [塗り領域][網掛け]に枠が作図できます。
71	塗り領域・網掛けのくり抜きに対応	塗り領域と網掛けのくり抜きに対応しました。 コンテキストメニュー[くり抜きの編集]でくり抜きの追加や編集ができます。
72	[移動]や[複写]、[機器器具の配置]などで要 素を選択した線分の向きに合わせる	[移動]や[複写]、[機器器具の配置]などの要素の回転が行えるコマンドで、選択した線分の向きと平 行になるように要素を回転できるようにしました。 コンテキストメニューから[線分に向きを合わせる]を選択し、図面上の線分を指定して回転できます。
73	[貼り付け]時に拡大する機能を追加	[貼り付け]に[倍率]のチェックを追加しました。 [倍率]にチェックを入れると、倍率の値が入力可能となり、要素を変倍して貼り付けることができます。 貼り付ける要素が下記の場合、[倍率]が表示されます。 ・[文字][寸法線][仮線][画像][2D図形][3D図形]
74	[未使用要素の削除]の機能改善	図面の保存時に未使用要素があった場合に表示される[未使用要素の削除]ダイアログで、保存をせ ずに戻ることができるようになりました。 また、[未使用要素の削除]ダイアログ表示時に、メッセージパネルで未使用要素があるビュー名が確 認できます。
75	複線部材に割り当てる単線記号の回転に対 応	機器・器具のコンテキストメニュー[単線記号の変更]の[属性変更]ダイアログに、[記号(割り当て)の回 転]を追加しました。 単線記号を回転して割り当てることができます。[部材の編集][選択した部材に置換][単線記号を基 準にリセット]でも同様の機能があります。 機器・器具のプロパティ項目[単線]に[記号(割り当て)の回転]を追加しました。
設定全般		
76	環境ファイルの保存先変更に対応	環境ファイルの保存先をCドライブから変更できるようにしました。 [設定]-[一般]タブ-[ファイル]-[環境ファイルの保存先」でチェックを入れると、下記の保存先を変更 できます。保存先はPC内蔵SSDドライブを推奨します。 ・パソコンごとに共通の環境ファイル ・パソコンアカウントごとの環境ファイル ・キャッシュファイル
77	アップデート通知の非表示設定を追加	レブロ起動時のアップデートダイアログの非表示設定を追加しました。 [設定]-[一般]タブ-[アクティベーション・アップデート]-[環境設定]の[アップデートを通知する]の チェックを外すと、レブロ起動時にアップデートダイアログが表示されないようになります。 コマンドラインに対応しているため、管理者がアップデートを管理することもできます。
IF	°C/DWG	
78	IFC出力機能の改善	[IFC形式で保存]ダイアログ内の設定を保存セットとして複数保持できるようにしました。 [IFC形式で保存]-[IFCの出力設定]から保存セットごとに設定の読み込み・保存や下記の設定内容 を編集することができます。 「IFC、設備IFCデータ利用標準」「対象」「要素の種類」「色の設定」「曲面部分の分割精度」「直部形 状の保存方法」「保温形状の保存方法」「文字書式の保存方法」 コマンドラインでIFC出力をする際に保存セットの設定ファイルを指定できるようにしました。 設定ファイルの内容でコマンドラインからもIFC出力できます。
79	IFC保存で保温形状の出力に対応	IFC保存で保温要素の形状を出力できるようにしました。 [IFC形式で保存]の[編集]で、[保温形状を保存する]のチェックを入れると保温形状が出力できま す。 保温形状は、IfcCovering(IfcCoveringType)で別要素として出力するか、配管などの要素を保温を含 む外径にして出力するか選択できます。

80	ユーザー部材作図時のIFC要素クラス設定 に対応	[機器器具]タブ-[ユーザー部材]-[ユーザー部材の追加/編集]-[拾い集計]タブで、IFC4.0の要素ク ラスを設定できるようにしました。 事前にユーザー部材に要素クラスを設定しておくことで、配置後に変更する手間がなくなります。 従来通り、部材配置後にプロパティ項目[IFC情報]から変更することもできます。
81	DXF/DWGの読み込み・保存でAutoCAD 2025に対応	[DXF/DWG読み込み][DXF/DWG形式で保存]で、AutoCAD 2025に対応しました。
措	插 · 印刷	
82	ビュー専用要素の他のビューへの共有機能 を追加	ビュー専用要素にプロパティ項目[共通]-[共有ビュー]を追加しました。 [共有ビュー]で指定したビューにビュー専用要素を表示することができます。 プロパティ項目に[ビュー共通/専用]が表示される要素が対象です。
83	通り芯の印刷の機能改善	[ホーム]タブ-[印刷]に以下のチェックを追加しました。 ・通り芯記号をフィットする チェックを入れると、通り芯記号が印刷範囲外にある場合、印刷範囲内にフィットして印刷します。 ・通り芯のラバーを印刷 チェックを入れると、通り芯のラバーを印刷します。 それぞれ対象要素は「通り芯」、「通り芯(円弧)」です。
84	PDF形式の保存で範囲の設定	[PDF形式で保存]に[範囲]タブを追加し、出力する範囲を設定できるようにしました。 併せて、通り芯の調整をするために、[基本]タブに以下のチェックを追加しました。 ・通り芯記号をフィットする チェックを入れると、通り芯記号が印刷範囲外にある場合、印刷範囲内にフィットして印刷します。 ・通り芯のラバーを印刷 チェックを入れると、通り芯のラバーを印刷します。 それぞれ対象要素は「通り芯」、「通り芯(円弧)」です。
85	ペーパー空間へのPDF画像貼り付けに対応	[PDF読み込み]、[画像ファイルの貼り付け]で、ペーパー空間への画像貼り付けに対応しました。
С	G	
86	シーンで寸法線の仮表示に対応	[CG]-[シーン]で、寸法線などを仮表示の状態でシーンに追加できるようにしました。 CGウィンドウの[要素選択]ボタンをシーンの[視点の変更][追加]でも有効にしました。 [選択要素]のオン/オフや仮表示の状態は、ビューポイントごとに記憶します。
87	シーンで注記の回転に対応	[CG]-[シーン]-[注記]のうち下記の注記を回転できるようにしました。 [線][矢印][ブロック矢印][楕円][矩形][角丸矩形][雲] 回転ハンドルによる個別回転のほか、複数の注記を選択してコンテキストメニューから[回転]を選択 することで、選択した注記全体を回転することもできます。
88	シーン名をコンテキストメニューからの変更 に対応	[CG]-[シーン]のシーン名をコンテキストメニュー[シーン名の変更]から変更できるようにしました。 この対応により、他のシーンのシーン名を参照しながらシーン名を変更することができます。 これまではシーン名を変更するには[CG]-[シーン]-[編集]を実行して変更する必要がありました。
89	ムービーでMP4ファイルの保存に対応	[CG]-[ムービー]-[ムービーの保存]で、MP4ファイル形式の保存に対応しました。 併せて、ファイルサイズが2GBを超えないように分割して保存するようにしました。
90	部屋・ゾーンのCG表示切り替え対応	部屋・ゾーン・盤の管理範囲をシェーディング対象データに追加しました。 [設定]-[一般]タブ-[CG]-[その他]の[シェーディング対象データ]にある[部屋][ゾーン、盤の管理範 囲]のチェック状態を変更することで、部屋・ゾーン・盤の管理範囲をCGに表示するかどうかを切り替 えることができます。
咅	羽材の新規追加	
91	SUS高圧差込み溶接式継手の追加	ステンレス管用の継手、材料サブセットを追加しました。 [配管]タブ-「継手]-「ステンレス鋼管用継手」に「SUS高圧差込み溶接式管継手Sch80」(計21種193 点を追加しました。 材料サブセット[ステンレス鋼管]に「ステンレス管(Sch80)+高圧差込み溶接式管継手」を追加しまし た。
92	ステンレス鋼管用継手の部材追加	[配管]タブの[継手]-「ステンレス鋼管用継手」-「配管用ステンレス鋼管用ねじ込み式管継手」に以下 の部材を追加しました。 ・新規追加(4種44点) 「ソケット」-「6」「8」「10」「15」「20」「25」「32」「40」「50」「65」「80」「100」(計12点) 「ソケット(片側溶接)」-「6」「8」「10」「15」「20」「25」「32」「40」「50」「65」「80」「100」(計12点) 「ハーフソケット(片側溶接)」-「6」「8」「10」「15」「20」「25」「32」「40」「50」「65」「80」「100」(計12点) 「ハーフソケット(テーパ・片側溶接)」-「8」「10」「15」「20」「25」「32」「40」「50」(計8点)

93	大口径TS継手の更新	[配管]タブ-「継手]-「硬質塩化ビニル管用継手」-「大口径TS継手」の部材内容を更新しました。 ・サイズ追加 「チーズ」-「異径チーズ」-「200×75」、「250×75」、「250×100」、「300×75」、「300×100」(計5点) ・現行カタログに合わせた寸法に変更(2種3点) 「エルボ」-「90°ベンド」-「200」、「250」(計2点) 「チーズ」-「チーズ」-「300」(計1点) Rebro2025より前の図面の場合、コンテキストメニュー[部材の編集]で同じ部材に変更した時に今回 の変更が適用されます。
94	ポリフッ化ビニリデン管の管材、継手、材料 サブセットの追加	ポリフッ化ビニリデン管の管材、継手、材料サブセットを追加しました。 • [配管材料]-[硬質塩化ビニル管]に、管材2種17点を追加しました。 「PVDFポリフッ化ビニリデン管」-「PN10」「PN16」 • [配管]タブ-[継手]-「硬質塩化ビニル管用継手」に、「ポリフッ化ビニリデン管継手(PVDF継手)PN10」 (9種46点)、「ポリフッ化ビニリデン管継手(PVDF継手)PN16」(8種93点)を追加 • [硬質塩化ビニル管]に、材料サブセット2種を追加しました。 「PVDF管(PN10)+PVDF継手」「PVDF管(PN16)+PVDF継手」

### Ⅳ.仕様変更

No.	タイトル	内容	
Ē	<b>〕</b> 気		
95	器具間の条数記号を常に表示	器具間の配線が直線の場合、器具の間隔によらず条数記号を常に表示するようにしました。 Rebro2024(Rev.8)以前のバージョンでは、器具の間隔を短くした時に条数記号を非表示にしていま した。	
基	本操作/操作性/各種パネル		
96	入出力コマンドで表示する初期フォルダを変 更	[開く][名前を付けて保存]などの入出力を行うコマンドで表示する初期フォルダを「ドキュメント直下」 から「ドキュメント¥Rebro Documents」に変更しました。 「Rebro Documents」フォルダは、Rebro2025を初めて起動する時に作成します。	
97	汎用図形の注記コマンドをリボン上に移動	[図形]タブ-[注記]のサブメニュー[雲マーク][矢印][塗り領域][網掛け]をリボン上に移動しました。	
98	[系統管理]で「フロア指定なし」の要素を「未 設定」で集計するように変更	[系統管理]パネルの[追加][編集]-[系統管理の分類]で、仕分け項目に「基準フロア」を追加したと き、「フロア未設定」のフロアを「未設定」にチェックを入れることで集計できるように変更しました。 従来は「非対応」にチェックを入れることで集計されていました。	
酉	2管 2管		
99	[異種管接合の設定]で優先順を変更	[配管]タブ-[材料の設定]の[異種管接合]タブで同じ設定がある場合、上段の設定を優先するように 変更しました。 [矢印]ボタンで並び順を入れ替えることができます。	
R	evit出力		
100	Revitへ出力する要素のプロパティ値の変更	Revit連携の[Revitリンク出力]や[Revit(rvt)ファイルの保存]で要素のプロパティ値を「はい」「いいえ」 などレブロのプロパティパネルで表示される値で出力するように変更しました。 Rebro2024(Rev.8)以前のバージョンでは、要素のプロパティ値は「True」「False」など内部的なデータ 値が出力されていました。 既に内部的なデータ値でマッピング設定をしている場合、再設定が必要となります。	
互	Ê築 ■		
101	[フロア線の作図]をリボン上に移動	[建築]タブに[フロア線の作図]を移動しました。 [ビュー]横の[▼]-[フロア線]にも「フロア線の作図」を移動しました。 Rebro2024(Rev.8)以前のバージョンでは、[建築]タブ-[フロアの設定]の[フロアラインの作図]から起 動できました。	
L	イヤー		
102	[レイヤーー覧][レイヤーパネル]の[要素の ないレイヤーは表示しない]の動作を変更	[表示]タブ-[レイヤー一覧]で、各レイヤーの[表示][検索][印刷][塗り]の状態が、[要素のないレイ ヤーは表示しない]のチェック状態の影響を受けないように仕様変更しました。 [表示]タブ-[レイヤー一覧]で、レイヤーグループや全体の[表示][検索][印刷][塗り]アイコンをクリック すると、[要素のないレイヤーは表示しない]によって非表示になったレイヤーの[表示][検索][印 刷][塗り]の状態も同期して変更します。 従来は、[要素のないレイヤーは表示しない]によって非表示になったレイヤーの[表示][検索][印 刷][塗り]の状態は、レイヤーグループや全体の[表示][検索][印刷]][塗り]アイコンをクリックしても変化 しませんでした。 [表示]タブ-[パネル]-[レイヤー]の[要素のないレイヤーは表示しない]も同様の仕様変更を行いまし た。	
棁	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
103	[部材の編集]で支持金物のパラメータ値が 維持されるように変更	支持金物を「部材の編集」で別の型番に変更した時、「属性変更」の「パラメトリックのパラメータ値」の チェックが外れている場合、パラメータ値が維持されるように変更しました。 Rebro2024(Rev.8)以前のバージョンでは、「パラメトリックのパラメータ値]のチェックの状態に関わらず パラメータ値が変更先の型番のものに上書きされていました。	
Ż	(字/寸法線/汎用図形		
104	のクリップ・余白における寸法線の引 出し線の表示	[図形]タブ-[寸法線の作図]で2D寸法線を作図する時、要素の線上点をとった2D寸法線をクリップ外 または余白の場所に作図すると、引出し線が要素の傍から表示されるようにしました。 Rebro2024(Rev.8)以前のバージョンでは、クリップ・余白の有無に関係なく要素の端から引出し線を 表示していたため、クリップ・余白の配置によっては要素から離れた場所に引出し線が表示されてい ました。	

ッ	ツール			
105	[プロパティの読み込み]での「BLCJ標準 仕 様属性項目」をチェックするよう変更	[ツール]タブ-[プロパティ]-[プロパティの読み込み]で「BLCJ標準仕様属性項目」を含むCSVファイルを読み込んだ場合、レブロで対応している「BLCJ標準仕様属性項目」と一致するかチェックするように変更しました。 一致しない場合、該当する部材情報プロパティ項目に関連する「BLCJ標準仕様属性項目」は空で読み込まれます。		
拮				
106	[系統管理]パネルで[点滅表示]時の色の濃 さを変更	[系統管理]パネルで[点滅表示]をオンにした時、ペイントが設定されている要素上の文字などの注記 が消えないように点滅時の色の濃さを変更しました。 従来は点滅時に文字などが消えるタイミングがありました。		
剖	- 一部材の変更 - 部材の変更			
107	ステンレス鋼管用継手の名称変更	[配管]タブの[継手]-「ステンレス鋼管用継手」-「SUS溶接継手Sch10S」「SUS溶接継手Sch5S」「SUS溶 接継手Sch20S」「SUS溶接継手Sch40」「SUS溶接継手Sch80」の以下の部材を名称変更しました。 ・「ソケット」を「ソケット(片側溶接)」に変更 ・「ハーフソケット」を「ハーフソケット(片側溶接)」に変更 ・「ハーフソケット(テーパ)」を「ハーフソケット(テーパ・片側溶接)」に変更		
108	ポリブテン管用継手「ハウジング継手」の形 状変更	[配管]タブ-[継手]-「ポリプテン管用継手」-「H種継手(熱融着式)-日本継手」-「ハウジング継手」の下 記部材で、カップリングの接続部分の形状を変更しました。 併せて、カップリングを後付け部材として配置できるよう変更しました。 【該当部材】 「ハウジング用シモク」-「25」「30」「40」「50」「65」「75」「100」(計7点) 「ハウジング用バルブソケット(おねじ付)」-「25×R1」「30×R1 1/4」「40×R1 1/2」「50×R2」(計4点) 「カップリング」-「32(PB25A用)」「40(PB30A用)」「50(PB40A用)」「65(PB50A用)」「80(PB65A用)」 「100(PB75A用)」「125(PB100A用)」(計7点) 初提供したRebro2024(Rev.8)で作図している場合、コンテキストメニュー[部材の編集]で同じ部材に 変更した時に今回の変更が適用されます。		

## Ⅴ.不具合修正

No.	タイトル	内容
ħ		
109	[スパイラルダクト加工の情報削除]で異常 終了する	[加工]タブ-[スパイラルダクト加工]パネル-[情報削除]を行うと異常終了する不具合を修正しました。 継手同士が直接接続しているルートで、一部の継手でコンテキストメニュー[削除]-[削除(形状維持)] を行った場合に現象が発生していました。
110	[加工図]で出力したスパイラルダクトを選択 すると異常終了する	[加工]タブ-[スパイラルダクト加工]パネル-[加工図]から出力した図面で、スパイラルダクトを選択する と異常終了する不具合を修正しました。 出力するスパイラルダクトが部材と直接接続している場合に現象が発生していました。
111	[ユニット図]でニップルを含む系統が正しく 出力されない	[加工]タブ-[ユニット図]でニップルと継手が直接接続している系統が正しく出力されない不具合を修 正しました。 継手を挟んで異なる系統でナンバリングしており、両方の系統を出力した場合に現象が発生していま した。
112	[ユニット図]で出力しなかった系統の継手が 表示される	[加工]タブ-[ユニット図]で一部の系統を出力した時、出力しなかった系統の継手が実線で表示され る不具合を修正しました。 出力した系統の継手と出力しなかった系統の継手が直接接続している場合に現象が発生していました。
R	lebro図面	
113	ー部の継手の材料サブセットを変更すると 異常終了する	[配管]タブ-[継手]-「架橋ボリエチレン管用継手」の下記部材で、プロパティ項目[材料]-[材料サブ セット]を変更すると異常終了する不具合を修正しました。 部材がルートと接続している場合に現象が発生していました。 【該当部材】 ・「エスロカチット継手-積水化学工業」-「水栓ボックス継手」の「Sタイプ」-「FHK10S」「FHK13S」 ・「エスロカチット継手-積水化学工業」-「水栓ボックス継手」の「Mタイプ」-「FHK10M」「FHK13M」 ・「エスロカチット継手-積水化学工業」-「水栓ボックス継手」の「Lタイプ」-「FHK10L」「FHK13L」 ・「エスロカチット継手-積水化学工業」-「水栓ボックス継手」の「Lタイプ」-「FHK10L」「FHK13L」 ・「エスロカチット継手-積水化学工業」-「水栓ボックス継手(呼び径16用)」の「Mタイプ」-「KHBX16M」 ・「エスロカチット継手-積水化学工業」-「水栓ボックス継手(呼び径16用)」の「Lタイプ」-「KHBX16L」 ・「ダブルロックジョイント(E種)-オンダ製作所」-「エルボ」の「OML3型 エルボソケット」-「OML3E- 16C」
114	[キャプチャ]で図枠が誤った位置に表示され る	[ホーム]タブ-[キャプチャ]の「ファイルに保存」でPDFファイルを保存した時、図枠が誤った位置に表示される不具合を修正しました。 [ホーム]タブ-[図枠]で「別のレブロファイルを図枠として参照する」を行った場合に現象が発生していました。 [キャプチャ]の「メールで送信」-[設定]で「PDF形式」を選択した場合も同様の現象がありました。
115	[部屋一覧]に図面に存在しない部屋名が表 示される	[ツール]タブ-[部屋]-[部屋一覧]に図面に存在しない部屋名が表示される不具合を修正しました。 部屋を非表示にしたレイアウトを[レイアウトを別ファイルとして保存]で保存した場合に現象が発生し ていました。
÷	ション ション	
116	シミュレーションでダクトルート追加時に不正 な区間が追加される	[シミュレーション]パネルで、ドン付けで取り出されたダクトを含むルートを追加した時、不正な区間が 追加される不具合を修正しました。
췯	各種パネル	
117	[検索]で[識別情報]のチェックを外しても [GUID]が検索される	[検索]パネル-[キーワード]で、[識別情報]のチェックを外しても[GUID]が検索される不具合を修正しました。 [GUID]のチェックを入れた後に[識別情報]のチェックを外した場合に現象が発生していました。
e F	ē気	
118	[盤の管理]で盤の分類を変更すると不正な 情報が残る	[電気]タブ-「盤の管理]で盤の分類を変更した時、2次側の項目に入力した自由文字列が不正な情報として変更後の盤に残る不具合を修正しました。 変更前の盤のタイプと変更後の盤のタイプに同じ名称の2次側の項目が存在し、変更前の項目タイ プが[自由文字列]、変更後の項目タイプが[自由文字列]以外の場合に現象が発生していました。
119	[盤の管理]ダイアログを[キャンセル]で閉じ た時に確認のメッセージが表示されない	[電気]タブ-「盤の管理]で、[キャンセル]でダイアログを閉じた時に変更内容の保存を確認するメッ セージが表示されない不具合を修正しました。 [盤のタイプ]の内容のみを変更した場合に現象が発生していました。 電圧など機器器具要素の値を変更した場合も同様の現象がありました。

120	[単線記号の変更]で照明器具の[配光デー タ]-[非常用照明]が維持されない	照明器具のコンテキストメニュー[部材の編集]-[単線記号の変更]を行う時、[属性変更]ダイアログで [配光データ]のチェックを外しても[配光データ]タブ-[非常用照明]の内容が維持されない不具合を 修正しました。 パナソニックのメーカー提供部材「照明器具」の非常用照明から、[配光データ]タブ-[非常用照明]の チェックが外れている単線記号に変更した場合に現象が発生していました。	
121	[部材の編集]で単線記号と配線の接続が維 持されない	単線記号のコンテキストメニュー[部材の編集]-[部材の編集][単線記号の変更]を行う時、単線記号と 配線の接続が維持されない不具合を修正しました。 機器器具が複線部材に登録された単線記号もしくは複線部材が登録されていない単線記号と、電 気ボックスが複線部材に登録された単線記号の間で変更した場合に現象が発生していました。	
122	盤のタイプの設定で正しくない値が設定でき る	[設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]-[電気]-[盤のタイプ]で、2次側項目に「回路番号 [キー]」「幹線番号 [キー]」のどちらも設定されていないタイプなど、正しくない初期値が設定できる不 具合を修正しました。	
酉	2管		
123	[定尺の編集]で分割した配管に「?」マークの 継手が発生する	[加工]タブ-[配管加工]パネル-[定尺の編集]の[定尺割り][手動割り]でフランジ付き配管を選択した時、分割した配管の間に「?]マークの継手が発生する不具合を修正しました。 [配管][ダクト]タブ-[材料の設定]の[材料サブセット]タブの「使用する配管、ダクト」で、フランジ付きではない配管とフランジ付き配管を設定し、フランジ付きではない配管が上段に存在する場合に現象が発生していました。	
124	汚水桝でツールチップの接続口が「雑排水」 と表示される	[配管]タブ-[配管]で、汚水桝(アロン化成)のツールチップの接続口が「用途:雑排水」と表示される不 具合を修正しました。	
125	[異種管接合の設定]がサイズ条件に関わら ず使用される	[配管]タブ-[材料の設定]の[異種管接合]タブで設定した配管サイズの条件に関わらず使用される不 具合を修正しました。 その管材を組み合わせた設定が1つのみ存在する場合に現象が発生していました。	
\$	້クト		
126	「隣接するエリア」を変更する時、スポイトで 金網が選択できない	[排煙エリア]パネルで「隣接するエリア」を変更する時、スポイトで金網が選択できない不具合を修正 しました。	
127	フレキシブルダクトとダンパーを接続すると ダンパーが削除される	フレキシブルダクトのルート作図のハンドル(黄)からルート作図した時、終点位置にダンパーの接続 ロを指定して接続するとダンパーが削除される不具合を修正しました。 フレキシブルダクトとダンパーの角度が平行でない場合に現象が発生していました。	
128	角ダクトとドン付け(ホッパー)をクイック結合 すると不要なルートが発生する	角ダクトとドン付け(ホッパー)を選択してコンテキストメニュー[クイック結合]を行うと、角ダクトとドン付け (ホッパー)の間に不要なルートが発生する不具合を修正しました。 角ダクトとドン付け(角丸ホッパー)でも同様の現象が発生していました。	
129	ダクトのレイヤーで制気口を配置しても用途 が設定されない	[ダクト]タブ-[制気口]で[ボックス]のチェックを外して配置した時、制気口のプロパティ項目[用途]- [用途]の値が空欄になる不具合を修正しました。 制気口をダクトのレイヤーで配置した場合に現象が発生していました。	
酉	2管/ダクト 共通		
130	[風量の設定]の「確認」で「入力値」のラバー が隠れる	[ダクト]タブ-[風量の設定]-「確認」で、「入力値」のラバーが他のラバーの下に隠れて見えない不具 合を修正しました。	
131	チャンバーと接する位置のダンパーが移動 できない	チャンバーと接する位置で接続しているダンパーが移動できない不具合を修正しました。 チャンバーとは反対側のダンパーの端部に、長さが「0mm」のルートが存在する場合に現象が発生し ていました。 機器器具と接続するキャンバスなどでも同様の現象がありました。	
7	データリンク		
132	データリンクで[編集するプロパティ項目]の [カテゴリ]が空欄になる	[ツール]タブ-[データリンク]-[Excelのセル位置指定]で、[スポイト]で追加したプロパティ項目を[編 集]を行うと、[編集するプロパティ項目]ダイアログの[カテゴリ]が空欄になる不具合を修正しました。 対象の要素に存在しないプロパティ項目を[スポイト]で追加した場合に現象が発生していました。	
133	データリンクのヘルプで不正確な注釈があ る	[データリンク]のヘルプで、[Excelから読み込み]で変更可能なレブロ情報について、プロパティの[部 材情報]※1の注釈を修正しました。 プロパティ項目[部材情報]を読み込んだ時、存在しないプロパティ項目は追加されますが、制気口な ど一部の要素は追加されません。	

棁	● 機器/器具 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●		
134	ユーザー記号の配線が、平面ビュー以外の ビューで接続口の位置から引き出せない	[機器器具]タブ-[ユーザー記号]-[新規追加]で登録した単線記号から電気配線を引き出した場合、 平面ビュー以外のビューでは接続口の位置ではなく基準点から配線を引き出す不具合を修正しました。 新しく登録した単線記号は、平面ビュー以外のビューからでも接続口の位置から配線を引き出して描 画できるようにしました。 既に登録済みの単線記号は、再登録することで正しい状態に更新します。	
135	中国語、英語版レブロの制気ロが自動配置 できない	中国語、英語版レブロの[機器器具]タブー[自動配置]で制気口が配置できない不具合を修正しました。	
ד	パイン		
136	Revit連携の[Revitリンク入力]で[レイアウト グループ名]の日本語入力ができない	Revit連携の[Revitリンク入力]をクリックした後に開く[Revit専用レブロリンク形式を開く]ダイアログで、 [レイアウトグループ名]の入力欄に日本語入力ができない不具合を修正しました。	
137	Revit連携の[Revit(rvt)ファイルの保存]でレ ブロ図面に存在しないフロアがRevitプロジェ クト内に存在する	Revit連携の[Revit(rvt)ファイルの保存]で、出力元のレブロ図面に存在しないフロアがRevitプロジェ クト内に存在する不具合を修正しました。 [設定]タブ-[対象のRevitバージョン]で「Revit2023」もしくは「Revit2024」を選択した場合に現象が発 生していました。 お手数ですが、弊社提供のアドインRebroLinkRv2023、RebroLinkRv2024をそれぞれVer.2.0.1.0に アップデートしてください。	
138	[SPIDERPLUSIこ出力]の「防火区画貫通部 の確認(カメラアイコン)」で出力対象のチェッ クが保存されない	SPIDERPLUS連携の[SPIDERPLUSに出力]の「防火区画貫通部の確認(カメラアイコン)」で、[出力対 象の設定]のチェックが正しく保存されない不具合を修正しました。 同じ要素IDのルートが、[設定]-[一般]タブ-[建築]-[防火・防煙区画の種類]で追加した複数種類の 区画と交差している場合に現象が発生していました。 [出力対象の設定]の初回表示時のみ、前回値がリセットされます。	
139	[照度分布図]を非表示のレイヤーで行った 時にエラーメッセージが表示されない	ルミナスプランナー連携の「照度分布図」を行った時、「照度分布図」レイヤーが非表示の状態でも「非 表示のレイヤーに作図することはできません]のエラーメッセージが表示されず、作図できる不具合を 修正しました。	
J	ww		
140	[JWWファイルとして保存]で裏向きの文字の 位置が変わる	[JWWファイルとして保存]で、裏向きの文字の位置が変わる不具合を修正しました。 ただし、JWWが裏向きの文字に対応していないため、裏向きの文字は表向きに変換されます。	
ß	意線処理		
141	溶接サドルのついた配管を隠線処理すると 配管の稜線が表示されない	[表示]タブ-[自動隠線][手動隠線]を溶接サドルと接続した配管で行った時、配管の稜線が表示され ない不具合を修正しました。 ビューの視点や縮尺によって現象が発生する場合がありました。	
ک	(字		
142	文字の[編集]を行うと文字が変わる	[図形]タブ-[文字]パネル-[編集]を行うと、変更していない文字が変わる不具合を修正しました。 (1)などシフトJISにない文字で始まり、編集中に図面上に表示される入力欄の幅より文字列が長い場 合、×や÷の文字の場合に現象が発生していました。	
÷	サイズ文字		
143	サイズ記入文字が誤った位置に配置される	[配管][ダクト][電気]タブ-[サイズ記入]-[中央]で単線表示のルートを選択した時、サイズ記入文字の 高さ分オフセットして配置される不具合を修正しました。 単線表示のルートを選択し、[系統選択]や[要素選択]パネルの[オプション]-[選択要素の拡張]を 行った場合に現象が発生していました。	
2	ツール		
144	[重複要素の削除]が外部参照先の同じ要素 IDの要素で正しく行われない	[ツール]タブ-[重複要素の削除]で外部参照先の図面同士に同じ要素IDの要素が存在する時、位置 や形状が同じでも重複していると判断されない不具合を修正しました。	
145		[ツール]タブ-[カスタムプロパティの追加/編集]-「条件式」で、[条件]に[カテゴリ]-[計算]、[プロパ ティ項目]-[風速]を設定しても正しく判定されない不具合を修正しました。 [設定]-[一般]タブ-[配管・ダクト・電気共通]-[技術計算]の[ダクト]タブ-[矩形ダクトのサイズを円形ダ クト換算する]のチェックが入っている場合に現象が発生していました。	

킔	設定全般		
146	[ファイルから読み込む]で[ユーザー記号]が 正しく読み込まれない	[設定]-[設定の読み込み・保存]-[ファイルから読み込む]で[部材の設定]-[ユーザー記号]を読み込んだ時、ユーザー記号の内容が設定ファイルの内容と異なる不具合を修正しました。 ユーザー記号の複線部材にパナソニックのメーカー提供部材が設定されている場合に現象が発生していました。	
147	[ファイルから読み込む]で[ライブラリ]が正し く読み込まれない	[設定]-[設定の読み込み・保存]-[ファイルから読み込む]で[部材の設定]-[ライブラリ]を読み込んだ時、[ライブラリ]パネルの内容が設定ファイルの内容と異なる不具合を修正しました。 読み込むPCと設定ファイルに同名のアイコン画像ファイルが存在する場合に現象が発生していました。	
咅	「材の修正」		
148	90°ダブルショートベンド片側ロングの 「100」の接続口の位置に誤りがある	[配管]タブ-「継手]-「ポリエチレン管用継手」-「サイフォン式雨水排水システム(雨水ハイパーRD)-積水化学工業」-「ショートベンド」の「90°ダブルショートベンド片側ロング」-「100」の接続ロが端点より 1mm基準点に近い位置にある不具合を修正しました。 初提供したRebro2024(Rev.8)で作図している場合、配置し直す必要があります。	
149	[BE-Bridge読み込み][IFC読み込み]で一部 のフランジが正しい部材に置き換わらない	<ul> <li>[BE-Bridge読み込み]で[配管]タブ-[継手]-「フランジ」の下記部材が正しい部材に置き換わらない 不具合を修正しました。</li> <li>[IFC読み込み]でも同様の現象がありました。</li> <li>【該当部材】</li> <li>「鋼製フランジ(白)」-「スリップオン溶接式フランジ(板フランジ)」の「JIS40K」-「10」~「400」(18点)</li> <li>「鋼製フランジ(白)」-「スリップオン溶接式フランジ(板フランジ)」の「JIS63K」-「10」~「400」(18点)</li> <li>「鋼製フランジ(黒)」-「スリップオン溶接式フランジ(板フランジ)」の「JIS6K」-「10」~「500」(35点)</li> <li>「鋼製フランジ(黒)」-「スリップオン溶接式フランジ(板フランジ)」の「JIS40K」-「10」~「400」(18点)</li> <li>「鋼製フランジ(黒)」-「スリップオン溶接式フランジ(板フランジ)」の「JIS63K」-「10」~「400」(18点)</li> <li>「鋼製フランジ(黒)」-「スリップオン溶接式フランジ(板フランジ)」の「JIS63K」-「10」~「400」(18点)</li> </ul>	
150	ラップ付短管がフランジではなくソケットとし て設定されている	[配管]タブ-「継手]-「一般配管用ステンレス鋼管継手」-「モルコジョイント」の「ラップ付短管」の部材が フランジではなくソケットとして設定されている不具合を修正しました。 [シミュレーション]パネルの「配管抵抗計算]ではソケットで計上され、部材同士をフランジ面で[クイック 結合]すると不要なルートが発生していました。	
151	ー部の継手がルートの編集で他の継手に変 わる	[配管]タブ-[継手]-「架橋ポリエチレン管用継手」の下記部材と接続したルートを編集した時、継手が 材料サブセットで定義されているデフォルトの継手に戻る不具合を修正しました。 【該当部材】 ・「エスロカチット継手-積水化学工業」-「水栓ボックス継手」の「Sタイプ」-「FHK10S」「FHK13S」 ・「エスロカチット継手-積水化学工業」-「水栓ボックス継手」の「Mタイプ」-「FHK10L」「FHK13L」 ・「エスロカチット継手-積水化学工業」-「水栓ボックス継手」の「Lタイプ」-「FHK10L」「FHK13L」 ・「エスロカチット継手-積水化学工業」-「水栓ボックス継手」の「Lタイプ」-「FHK10L」「FHK13L」 ・「エスロカチット継手-積水化学工業」-「水栓ボックス継手(呼び径16用)」の「Mタイプ」-「KHBX16L」 ・「ダブルロックジョイント(E種)-オンダ製作所」-「エルボ」の「OML3型 エルボソケット」- 「OML3E-16C」	
152	ー部の弁類が90°以外のルートの曲部に 挿入できる	[配管]タブ-[弁類]-「止水栓」-「メータ直結止水栓」の下記部材で、90°以外の曲部に挿入できる不 具合を修正しました。 【該当部材】 ・「甲形」の「伸縮式 アングル型 おねじ」-「13」~「20」3点 ・「ボール式」の「伸縮式 アングル型 おねじ」-「13」~「25」(3点)	
153	ー部の弁類に不要なプロパティ項目が表示 される	[配管]タブ-[弁類]-「ボール弁」-「BKジョイント用ボールバルブ-ベンカン」の部材のプロパティ項目 [部材情報]に、システムの情報が表示される不具合を修正しました。	
154	青銅ニップルがニップルではなくソケットとし て設定されている	[配管]タブ-「継手]-「架橋ポリエチレン管用継手」-「キューメックス関連部材-前澤給装工業」-「ヘッ ダー」の「青銅ニップル」の部材がニップルではなくソケットとして設定されている不具合を修正しまし た。 [加工]タブ-[配管加工]パネル-[ナンバリング]の「加工集計」でニップルとして扱われていませんでし た。 Rebro2025以前の図面で使用している場合、ナンバリングをし直す必要があります。	
155	絶縁ユニオンが加工集計表でソケットの継 手マークで表示される	[加工]タブ-[加工集計]の「テンプレート2」で絶縁ユニオンと接続したルートを出力した時、継手方向 欄の継手マークがソケットで表示される不具合を修正しました。 [配管]タブ-[継手]-「一般配管用ステンレス鋼管継手」-「Zlok継手」の下記部材で現象が発生していました。 【該当部材】 「絶縁ユニオン」の「樹脂ライニング鋼管用」-「20×3/4」「25×1」「40×11/2」「50×2」	